

南草津のまちづくりに関する調査研究報告書
－南草津地域のまちづくりの方向性について－

2013(平成 25)年 3 月

草津市 草津未来研究所

要旨

第5次草津市総合計画では、草津市も2015年10月には高齢化率が21%に達して超高齢社会となることや、2020年の途中から人口減少が始まることを予測しており、南草津においても今までのような右肩上がりの成長をいつまでも期待することはできない。

過去の南草津の歴史をみてみれば、現在のJR南草津駅周辺は、1980年の第2次草津市総合開発計画で南部副都心整備構想として将来ビジョンが掲げられた後、総合計画でJR草津駅を中心とする北部中心核と対をなす南部中心核として位置付けられ、急速に開発・整備が進められてきた。1994年には、JR南草津駅と立命館大学びわこ・くさつキャンパスが新設され、ハード面を中心に急速にまちが発展した。そして、2011年3月にJR南草津駅が新快速の停車駅となったことで、開発・整備は一つの区切りを迎えた。

そこで、現在、発展の踊り場局面にあるともいえる南草津において、関係者が今後の南草津のまちづくりの新たな方向性を共有していくことが必要になる。そこで、本稿では、今後の議論の広がり期待を込め、各主体のなかで広く共有するための南草津のまちづくりの方向性の提示を試みた。

具体的な手法としては、立命館大学、草津商工会議所、草津市役所の関係者で構成する南草津まちづくり研究会（以下、研究会）と南草津まちづくりワーキンググループ（以下、ワーキング）を立ち上げ、そのなかで議論を行った。

研究会では、ワーキングの企画案をテキストマイニングの手法により分析したほか、過去の南草津の歴史や国勢調査のデータ等を概観し、南草津での現地踏査やヒアリング調査の結果を踏まえて議論を行った。

ワーキングでは、「発案者自らがリーダーシップをとって進めていける実現可能性のある企画案」を各メンバーが出し合い、南草津に不足しているものやあるべき姿の分析を行った。分析の結果から、南草津では①立命館大学の学生力を活用し、地域活性化を図る取り組み②都市インフラを整備し、南草津の新たな産業・魅力を外に発信する取り組み③南草津の住民が主体となりソフト的にまちの魅力を高める取り組みが必要であることがわかった。

また、当研究所独自の調査の結果、南草津駅周辺では、15歳から24歳の年齢層の約6割の人が、住民登録をしていないこと等がわかった。さらに、不動産業者等のヒアリング調査の結果から、住民は南草津を通学や生活の利便性等の理由で一時的に住む場所として

考えられている傾向があること等もわかった。

結論部分では、南草津の強みと弱みから、副都心として機能強化すべき南草津の方向性について、次の3点を挙げた。南草津を周辺地域との関係性のなかでとらえ、短期的にはその強みを生かすことを優先し、中・長期的には弱みを克服していくことで、南草津の個性を際立たせ、南草津の持続可能性を高めることができる。

1つめの方向性は、立命館大学、草津商工会議所、草津市役所から始まる交流である。南草津の強みを生かすためには、立命館大学びわこ・くさつキャンパスの立地環境を最大限に生かし、多様な主体が気軽にまちづくりについて話し合える交流拠点をJR南草津駅前につくる必要がある。市民間の交流の動きも重要であるが、先の三者が率先して行動し、多様な主体を巻き込んで交流を生み出すことも重要である。

2つめの方向性は、住みやすさの維持である。南草津の弱みであるコミュニティの希薄性を克服するため、立命館大学等も巻き込みながら、個々の住民のライフスタイルの変化にも長期に渡って対応できる住みやすいまちづくりを追求していくことが今後の南草津のまちづくりの鍵となる。具体的には、一時的な住まいとして考えている住民を地域に定着させていくため、低い負担で若者や高齢者がその時々々のライフスタイルにあった住居に住み替えができるよう、中間支援の組織も必要となる。

3つめの方向性は、交通インフラの整備である。南田山交差点を中心とする南草津の慢性的な交通渋滞は早急に対応すべき課題であるが、ここでも立命館大学や実際の利用者である市民を交えながら、交通インフラの整備を慎重に行っていく必要がある。

これら3つの方向性のうち、1つめはすぐにでも取り組みを始めることが可能であるが、2つめと3つめはすぐに取り組みを始めることは難しく、中・長期的に取り組んでいく必要がある。

なお、2014年に立命館大学びわこ・くさつキャンパスは開学20周年を迎えるが、JR南草津駅も同時に開業20周年を迎え、草津市政も60周年を迎えることとなる。今後も、10年ごとにこれらの節目の周年記念が重なることから、その都度、関係者が多くの人を巻き込んで南草津のまちづくりの方向性を内省し、新しいまちづくりの方向性を共有していくことも重要である。

目次

はじめに.....	1
第1章 草津市を取り巻く環境変化と都市再整備の必要性.....	2
1 持続可能な都市とサステナブル度.....	2
2 人口減少・超高齢社会を見据えた集約型都市構造.....	3
3 垂直ネットワーク型都市構造から水平ネットワーク型都市構造へ.....	5
4 東日本大震災以後の開発哲学.....	8
第2章 南草津の現状と課題.....	9
1 南草津のエリアと拠点性.....	9
2 短期間で発展を遂げた南草津.....	11
3 地域と住民との関係.....	15
4 商業の偏りから見る駅前の様相.....	17
5 都市施設等から見る拠点機能の弱さ.....	18
6 地域の声から見る南草津の一側面.....	20
(1) 南草津の強みと弱み.....	20
(2) 不動産業者の声.....	21
(3) 地域住民の声.....	22
(4) 立命館大学生の声.....	24
第3章 南草津のあるべき姿.....	26
1 事例から見る駅前の都市機能.....	26
(1) 開かれたまちづくりの場: 柏の葉アーバンデザインセンター(千葉県柏市) ...	26
(2) 住む人が老いることを考えたまち: ユーカリが丘(千葉県佐倉市).....	29
2 南草津まちづくり研究会での一考察.....	32
3 副都心としての南草津の地域構造に関する考え方.....	37

第4章 副都心として機能強化すべき南草津の方向性.....	38
1 立命館大学、草津商工会議所、草津市役所から始まる交流.....	38
2 住みやすさの維持.....	39
3 交通インフラの整備.....	41
おわりに.....	43
関係者一覧.....	44
参考文献.....	45
参考資料.....	47

はじめに

私たちの社会は、いまや地球という資源・エネルギーの絶対的限界と福祉国家型の公益の限界に直面している。このような社会構造の変化のもとでは、もはや行政のみで持続可能な社会を築いていくことは困難である。そのため、市民、企業、大学等とともに、まちのあるべき姿を共有しながらまちづくりを進めていく必要がある。

現在、当市においても、草津市総合計画をはじめとする各種計画で一定の考え方を定め、各主体間でまちのあるべき姿を共有しつつ、ともに役割を担いながらのまちづくりが進められている。なかでも、草津市都市計画マスタープランでは、JR草津駅を中心とする北部中心核と、JR南草津駅を中心とする南部中心核を複眼的に捉え、両核をにぎわい拠点として市全体を発展させる考え方を示しており、各主体が共有すべき当市のまちづくりの重要な視点となっている。

ところで、それら2つの中心核を個別にみても、北部中心核では、中心市街地活性化という一定のまちのあるべき姿が各主体間で共有され、まちづくり会社の設立準備や草津川跡地整備等、具体的な取組みが進められている。一方、南部中心核では、副都心として複合的な都市機能を有する市街地の形成が一定進んできたが、2011年3月に南草津駅が新快速停車駅となり、一つの区切りを迎えている。そこで今、南部中心核については次の段階として、まちのあるべき姿を明確にし、南草津のポテンシャルを高めて生かしていくための新たなまちづくりの方向性が必要になろうとしている。

そのため、この調査研究では、近年の都市計画の分野で注目されている「持続可能性」と「集約型都市構造」という言葉をキーワードとして南草津の将来像について検討する材料を整理し抽出する。そして、南草津のまちの特性と課題を明らかにし、各セクター、つまり、草津市、地域住民、産業界、大学が共有できるまちづくりの中長期的な方向性を示す。

将来のまちのあるべき姿については、本来であれば各主体のできるだけ多くの人とともに、可能な限りの時間をかけて具体的な形で共有していく必要があるが、ここでは草津市役所、草津商工会議所、立命館大学が構成員となる南草津まちづくり研究会での議論をもとに、その前段として基礎材料を整理することを主旨としている。

第1章 草津市を取り巻く環境変化と都市再整備の必要性

1 持続可能な都市とサステナブル度

集約型都市構造は、コンパクトシティとも表現されるが、持続可能な都市の空間形態として提起された都市政策モデルであり、都市空間の概念である（海道 2001: 24）。

集約型都市構造の前提となる持続可能な都市を目指す動きについては、1972年のローマクラブのレポートに端を発しているが、1987年の国連のブルントラント委員会報告¹を契機として重要な概念と認識され、欧州から急速に世界に広まった（海道 2001: 26）。わが国でも 2000 年代になって国土交通省や環境省などが率先して考え方を取り入れ、近年のまちづくりの考え方として定着しつつある。

今日では、「持続可能な都市」とは、限られた環境容量のなかで後世に負荷をかけずに経済と社会の発展を目指す都市のことと一般的に解され、今後の都市としての活力や魅力を左右するものとして注目されている²。

全国の都市を比較し、「持続可能な都市」をランク付けしたものもある。トリプルボトムライン、すなわち環境、経済、社会の 3 つの側面のバランスをもって持続可能性を指標化した日本経済新聞社産業地域研究所の「全国都市のサステナブル度調査」である³。それによれば、2011 年調査時点で草津市のサステナブル度は全国 630 市中 254 位という中程度の順位であるが、滋賀県内では 12 市中 9 位という下位の順位にとどまっている。

草津市が下位に低迷している理由を分析してみると、環境保全度、社会安定度、経済豊かさ度という 3 つの指標のうち、環境保全度が 279 位、経済豊かさ度が 76 位であるのに対し、社会安定度が 597 位と極端に低いことが原因であることがわかる。とくに社会安定度のなかの項目を見てみると、1,000 人あたりの小売店数(6.92 店、582 位)や飲食店数(3.43 店、582 位)が少ないこと、また、刑法犯罪認知件数(16.54 件、517 位)や交通事故発生件数(8.21 件、594 位)が多いこと等がわかる。

¹ 国連の「環境と開発に関する世界委員会」の委員長であったブルントラントの名前からこのように言われ、報告書『われら共通の未来』が有名である。「持続可能性」という言葉が、その後、開発と環境との両立を図ることができる便利な言葉として一般化する契機となった。

² 海道（2001）、鮎川（2012）ほか

³ 2007 年から隔年で実施し、今回 3 回目。後述の 3 つの評価軸で合計 90 の指標項目を用いランキング化している。

表 1-1 滋賀県内の「都市のサステナブル度」一覧

県内順位	自治体名	総合スコア	総合順位	環境保全度スコア	順位	社会安定度スコア	順位	経済豊かさスコア	順位
1	大津市	55.6	49	59.8	40	50.5	210	52.1	209
2	彦根市	53.4	117	55.9	104	51.3	130	50.3	277
3	長浜市	53.2	124	55.9	104	52.0	87	49.0	335
4	守山市	52.7	142	50.3	255	54.9	8	55.2	105
4	栗東市	52.7	142	50.6	244	53.8	24	55.7	89
6	野洲市	51.5	196	52.4	185	51.3	130	49.9	293
7	米原市	50.7	226	51.7	208	50.1	262	49.2	325
8	甲賀市	50.6	236	50.2	263	50.7	186	51.2	243
9	草津市	50.3	254	49.8	279	45.4	597	56.1	76
10	高島市	49.5	302	50.3	255	54.6	13	42.9	553
11	近江八幡市	48.1	396	45.7	462	48.9	398	52.0	217
12	湖南市	47.1	456	43.9	539	47.7	500	52.7	178

出所：日本経済新聞社・産業地域研究所(2011)より作成

2 人口減少・超高齢社会を見据えた集約型都市構造

わが国の人口は戦後から一貫して増加傾向であったが、近年の少子化の影響により、2005年に初めて減少に転じ、今後も一貫して減少していくことが見込まれている。また、高齢化率も2010年10月の段階で23.0%⁴であり、すでに超高齢社会に突入している。

第5次草津市総合計画では、草津市においても2020年の途中から総人口が減少に転じることを予測している。また、2013年2月現在では18.6%の高齢化率も2015年10月には21.0%となり、超高齢社会に突入することを予測している⁵。

このような背景を踏まえ、人口減少と高齢化が地域社会へどのような課題をもたらすのかということをもとめたものが、表1-2であり、草津市の今後を考えるうえでも参考になる(株式会社日本政策投資銀行中国支店 2012: 1)。

⁴ 『平成24年版 高齢社会白書』より。

⁵ なお、2010年度の当研究所の調査研究でも、人口を予測している。4通りの予測のうち、10年間人口増加モデル(第4類型)が、第5次草津市総合計画の推計値の裏付けとなっている。また、国立社会保障・人口問題研究所の将来推計人口(2013年3月推計)においても、草津市は2020年をピークに人口が減少すると予測されている。

表 1-2 人口減少、高齢化がもたらす地域社会への課題

課 題	詳 細
公共サービスの需要の減少	①庁舎、図書館、公民館、学校等の公共施設の減少・統廃合 ②公共交通機関の縮小・廃止（バス路線の廃止／運行本数の減少） ③医療施設の減少 →利便性の低下及び公共サービスの質の低下
地域コミュニティ維持に支障	①遊休地・空き家の発生 →地域の安全安心の低下、地域景観の悪化 ②担い手の減少により伝統文化継承が困難 ③自治会活動の継続が困難 →防犯防災の対応力が低下 ④農業後継者不足・里山維持が困難 →農業維持、または国土保全に影響
主要産業の縮小・撤退・転出	①就業先の減少、失業者の増加 →住民、流入人口の減少 ②商店街などの小売店や商業施設の減少、空き店舗の発生 →利便性の低下 ③税収減少

出所：（株）日本政策投資銀行中国支店（2012）

表 1-2 にあるような地域社会への課題を考えると、「これまでの拡散型都市構造を放置することによる諸問題を解決または回避し、持続可能な都市を実現するため、少子超高齢社会に対応したコンパクトな集約型都市構造への再編が不可欠」であるとの方向性が導き出される（都市整備研究会 2009： 106）。

ここでは、集約型都市構造を、「都市圏内の中心市街地及び主要な交通結節点周辺等を都市機能の集積を促進する拠点として位置づけ、集約拠点と都市圏内のその他の地域を公共交通ネットワークで有機的に連携することで、都市圏内の多くの人にとっての暮らしやすさと当該都市圏全体の持続的な発展を確保するものである」と定義付ける（都市整備研究会 2009： 105）。

草津市は、総面積が 67.92k m²であるが、琵琶湖面積を除いた面積が 48.22 k m²であり、いずれの場所からも JR の駅まで車で 15 分程度で行けることからすれば、そもそもまち自体がコンパクトであるともいえる。そのため、全国的に議論されている集約型都市構造の考え方のすべてを受け入れることには検討を要するが、来るべき人口減少社会、超高齢社会に備え、早い段階でまちづくりの方向性を決めておくことは、まちの魅力を高めるうえでも重要である。

なお、人口が減少し、モノが溢れる社会のもとで集約型都市構造を考える際には、郊外開発の規制に注意を払うことも重要である。全国的には、すでに商業施設の売り上げは伸び難くなってきており、商業施設が撤退した際等に高齢者に対するイン

フラ整備にかかる行政コストが過大な負担になる可能性がある。市場原理に任せておくと、郊外での開発が進んでしまうため、自治体の明確な意思表示が必要である。また、都市計画規制が強いまちと弱いまちが隣接している場合は、その規制効果が弱まることとなるため、広域的な視点で考える必要がある。

3 垂直ネットワーク型都市構造から水平ネットワーク型都市構造へ

集約型都市構造を考える場合には広く周辺地域との関係性にも着目する必要がある。従来は都心を向いて同一方向にまちづくりが進められてきたが、個々の自治体が相互連携しながら都市づくりをする方向に転換してきている。地方分権が進むなかでは、地域の魅力を高めるために、「階層的で閉鎖的な垂直ネットワーク型都市構造」から「開放的な水平ネットワーク型都市構造」への転換が必要である。

1つの自治体がフルセット型ですべてを備えることは資金面等の視点から政策的にも限界がある。また、1つの自治体よりも周辺と連携し都市圏として情報発信をしたほうが相乗効果を期待することができ、大都市としての魅力を発信することができる。各自治体や自治体内の地域同士が上下の関係なく、水平的な関係で連携し、ネットワーク上につながっていくことがこれからの地方分権社会では求められている⁶。

また、自治体内でも一定の中心核をもつ分都市をいくつか形成し、都心との水平ネットワークを築くことで地域のアイデンティティを創出し、コミュニティの発展につなげることができる。

⁶ このことを戸所(2000)は都市の大都市化と分都市化と表現している。

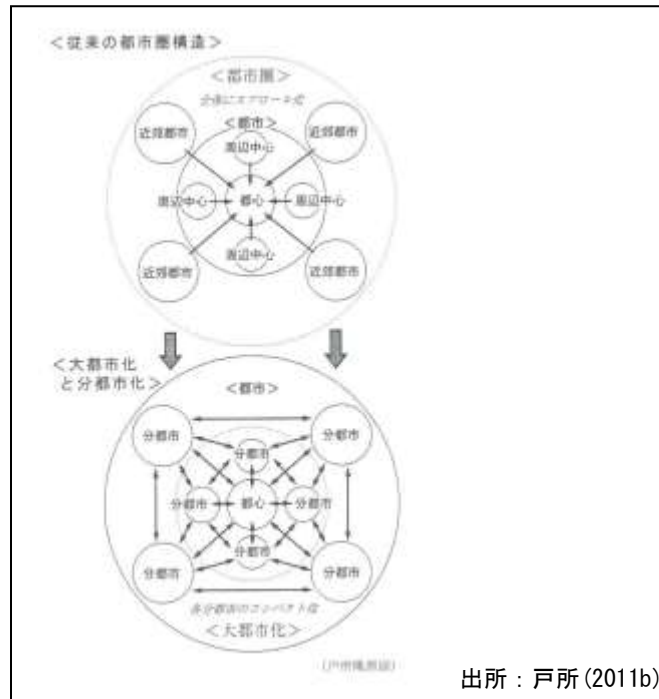


図 1-1 都市圏構造から大都市化・分都市化構造への転換

滋賀県の地理的な歴史を振り返ってみれば、古来より交通の要衝であったが、周辺の大都市への通過交通地域としての性格をもち、都市としての自立性が弱く、京阪神への依存性が強かった。そのため、現在でも個性豊かな中小の都市が分散している状態であるのが特徴的であるが、この個々の特性を強調しながら連携を図っていける可能性もある。

草津市の場合、栗太郡としてかつて一体の地域を形成していた栗東市や、消防、医療等の分野ですでに広域連携のしくみができている守山市と野洲市とともに「湖南 30 万都市」を想定し連携の幅を広げていくことも考えられる⁷。「湖南 30 万都市」として、内部の効率化と活性化を図り、さらに外部にも魅力を発信していく点で相乗効果を発揮する可能性も意識しておく必要がある⁸。

⁷ 地理的・歴史的・行政的なつながりから、草津市、守山市、栗東市、野洲市の 4 市は、1998 年から湖南広域行政組合を組織し、消防や第二次救急医療等について連携している。

⁸ 商業統計調査（2007 年）によれば、経済規模は大津市を若干上回り、滋賀県下で最大の商圏を形成することにもなる。

表 1-3 「湖南 30 万都市」の規模

市名	人口 (人)						世帯数	面積 (k㎡)
	人			うち外国人				
	総数	男	女	総数	男	女		
草津市	134,215	69,387	64,828	1,876	1,014	862	61,111	67.92
守山市	78,029	38,315	39,714	588	257	331	28,328	55.73
栗東市	65,291	32,519	32,772	787	404	383	23,932	52.75
野洲市	50,154	24,769	25,385	457	208	249	18,360	80.15
合計	327,689	164,990	162,699	3,708	1,883	1,825	131,731	256.55

市名	卸売業			小売業		
	事業所数	従業員数 (人)	年間商品販売額 (万円)	事業所数	従業員数 (人)	年間商品販売額 (万円)
草津市	162	1,295	9,188,435	805	7,927	14,579,200
守山市	115	866	4,663,976	572	4,138	7,440,060
栗東市	250	2,257	19,209,329	393	3,731	7,681,553
野洲市	56	420	5,303,323	332	2,317	3,584,858
合計	583	4,838	38,365,063	2,102	18,113	33,285,671

出所：滋賀県統計課「県および市町村の毎月1日現在の人口」（2012年10月1日現在）
および「商業統計調査」（2007年）より作成

「湖南 30 万都市」を想定する場合は、合わせて、彦根市や甲賀市ともネットワークを強固にし、図 1-2 のような「湖東トライアングル」も想定する必要がある。「湖東トライアングル」の中で人を循環させ、商業圏としての魅力を高める等により、域内の人口を京都や大阪等の大都市に流出しないようにする考え方も必要である。

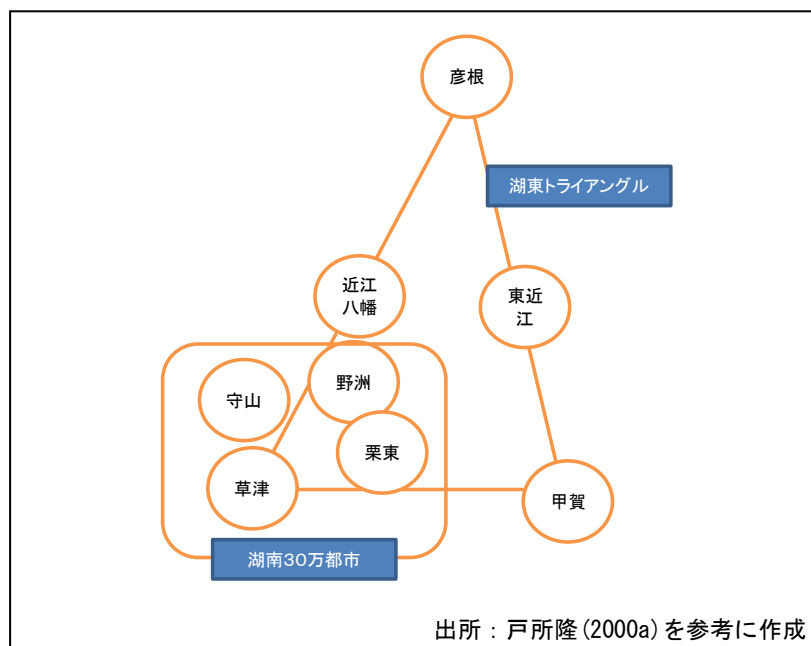


図 1-2 湖南 30 万都市と湖東トライアングル

4 東日本大震災以後の開発哲学

2011年3月11日に起こった東日本大震災を契機として、国民レベルで都市の防災や減災への意識が高まり、災害のリスクとは別に災害の不確実性にも注意を払う必要性が広く認識されるに至った。

これまで経済を優先して自然を克服するかたちで進められてきた都市開発も、今回の震災により、巨大なシステムほど人知を超えた事故を発生させ、巨大な災害（人災）を引き起こすことを知らされることとなった。資本の論理中心の政策から地域の論理中心の政策への転換が求められている（戸所 2012: 40）。

今回の震災は、数々の災害が複層的に重なったことも特徴であるが、なかでも原発事故によりエネルギー供給が麻痺したことのインパクトは大きかった。今後は安全性を重視した再生可能エネルギーへの転換も視野に入れた地域分散型のネットワーク社会を構築していく必要性も指摘されている（金子・神野 2012: 76）。

エネルギーの事例は地域分散型のネットワークの一例に過ぎないが、すべてを自給自足でまかなうのではなく、地域がつながりあうことでリスクを分散しながら、それぞれ自立していくという考え方は、都市構造を考えるうえでも重要な視点である。とくに草津市は、先の「湖南 30 万都市」や「湖東トライアングル」を想定して、エネルギーのネットワーク化、食糧のネットワーク化、介護のネットワーク化という「FEC 自給圏」⁹の一員として存在感を示していく考え方も意義深くなる。

また、他の震災後の開発哲学としては、ほかに表 1-4 のようなものが考えられる。これらに共通するのは、自然と人間との関係を根本から問い直し、巨大指向からヒューマンスケールへと転換するという新たな開発哲学である。

表 1-4 東日本大震災後の新しい開発哲学の方向性

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none">1 完全防災型でなく自然と人間の共生する減災型地域づくり2 自然破壊力を軽減する技術開発3 自力更生型復興を可能にする自立発展型地域の形成4 メンタルマップの描きやすいコンパクトな地域づくり5 拡大・年輪型市街地形成から積み重ね再開発型市街地形成への転換6 パートナシップ型応援システムの導入と創造力の喚起7 高規格交通基盤と横断国土軸の必要性 |
|--|

出所：戸所（2011a）より作成

⁹ 経済評論家の内橋克人によって提唱された地域の活性化を実現させようとする考え方のこと。FEC は Foods、Energy、Care の頭文字を取ったもの。

第2章 南草津の現状と課題

1 南草津のエリアと拠点性

第5次草津市総合計画では、草津市の将来の都市構造の考え方において、南草津は図2-1のとおり、草津駅を中心とするにぎわい拠点（北部中心核）と対をなす南草津駅を中心とするにぎわい拠点（南部中心核）として位置付けられている。また、草津市都市計画マスタープラン¹⁰では、「草津の南部副都心」として商業・業務・文化情報機能等を有する健全な市街地と魅力ある駅前空間の創出が掲げられている（草津市2006：28）。

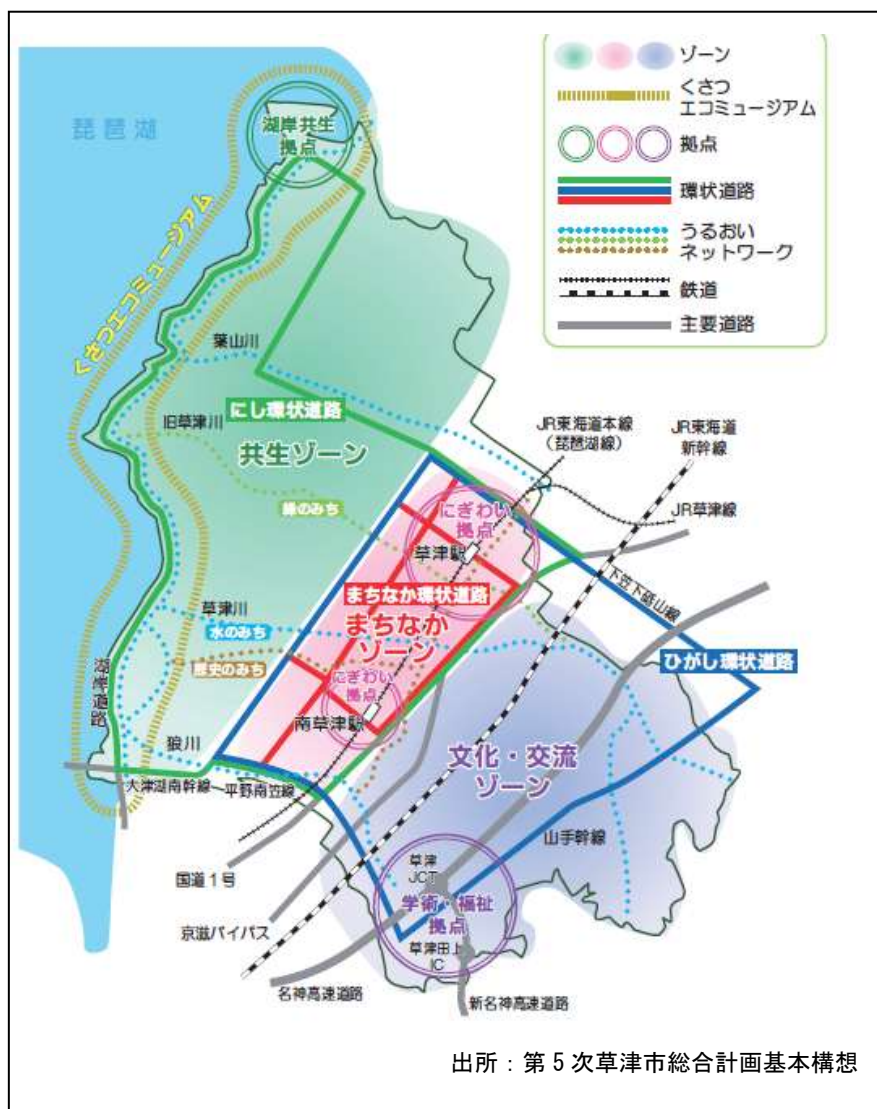


図2-1 草津市の将来都市構造

¹⁰ 2006年から2020年までの草津市の都市づくりの基本的な方向性を定めた計画である。

南草津という名称は、字名等の旧来の地名に由来したものではなく、1994年の南草津駅設置にともなって市民に広く認識されるようになった比較的新しいものであるため、その対象エリアについては明確に定まったものはない。

そのため、考え方の一つとして、南草津のエリアを広域的には琵琶湖岸から立命館大学まで幅広く捉えることができる。しかし、このように広域的に捉えると、工場地帯周辺、立命館大学周辺、びわこ文化公園都市周辺等、それぞれのゾーンごとに特性があるためにそれぞれが抱える課題も異なり論点が拡散する可能性がある。

そこで、ここでは狭義に捉え、対象地域内でもっとも利用者が多く、住民、通勤者、通学者等、多様な人々の共通のテーマとなり得る南草津駅周辺を南草津と定義する。具体的には徒歩圏内を想定し、南草津駅を中心に半径約800m圏内¹¹、概ね京滋バイパスから南草津駅西土地区画整理事業区域に至る範囲を対象としたエリアとする。ここでは便宜上、参考資料1の枠で囲った領域とし、野路1～2丁目、野路5～7丁目、南草津1～5丁目とする¹²。

このように狭義に南草津を捉えた場合、駅の乗降者数は欠かすことができない重要な要因であり、駅周辺の拠点性にも着目する必要がある。なお、南草津駅の乗降者数は、2007年には1日当たり41,240人で滋賀県内3位であったが、新快速停車駅となった2011年には1日当たり49,388人となり、石山駅を抜いて滋賀県内2位となっている。

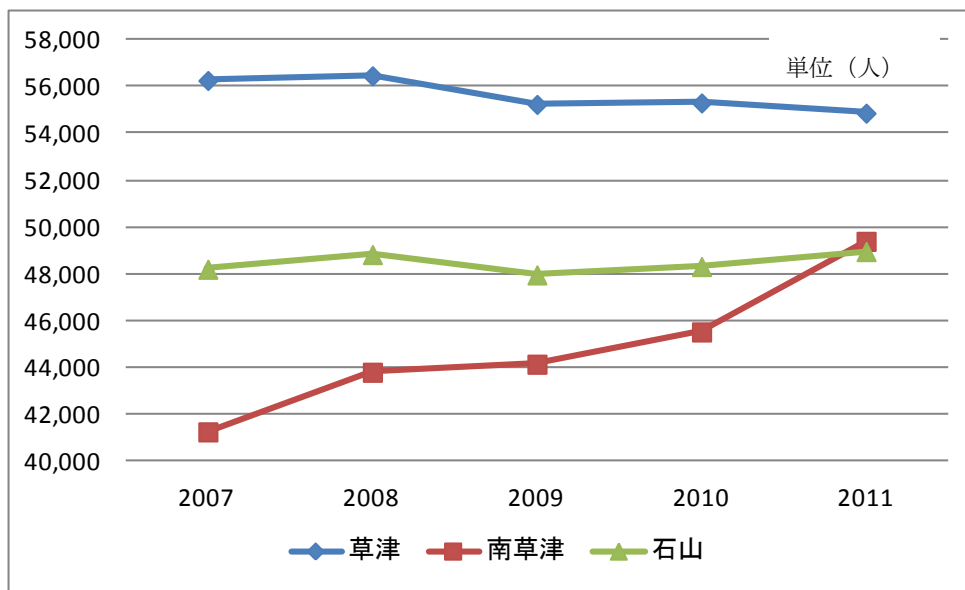
表 2-1 滋賀県内の乗降者数上位10駅(2011年)

	駅名	乗降者数	単位 (人)
1	草津	54,870	
2	南草津	49,388	
3	石山	48,950	
4	大津	34,606	
5	近江八幡	34,270	
6	瀬田	34,104	
7	守山	30,680	
8	野洲	27,402	
9	膳所	25,310	
10	栗東	24,518	

出所：西日本旅客鉄道（株）提供資料より作成

¹¹ 800mは徒歩10分で移動できることを意味し（不動産の表示に関する公正競争規約施行規則第10条第18号）、不動産情報サイト事業者連絡協議会の調査(2012)でも徒歩圏内と認識する人が最も多い(38.4%)。

¹² 実際は南草津をこのように明確に定義できないが、ここでは人口統計の便宜上、このように定義する。



出所：西日本旅客鉄道（株）提供資料より作成

図 2-2 滋賀県内の上位 3 駅の乗降者数の推移

2 短期間で発展を遂げた南草津

南草津は古くは中世(奈良時代から室町時代前期頃まで)に古代官道のとうさんどう東山道が通る場所であり、生い茂った萩の間に小川が流れる景勝地「野路の玉川」として知られ、数多くの歌人が訪れ詩を詠んだ場所として伝えられている。

江戸期には東海道が整備され、しだいに廃れていくこととなるが、東山道沿いには民家が点在する状況が続いた。その後、明治期に鉄道の敷設がなされると、しだいに住宅も増え始め、1960年代の高度成長期になると、白物家電の製造を中心とした大企業の工場が山手側に集積するようになったが、それでもまだ現在の南草津駅のあたりは森林で覆われた状態であった。

現在の南草津駅は、狭間池を埋め立てて造成した場所にある。1980年に草津市が草津駅との相乗効果でまちを発展させるために新駅を設置しようと計画して掲げた「南部副都心構想」¹³のもと、1986年の草津市南部新駅設置期成同盟会の発足を経て、1994年9月に設置されたものである。

また、1994年3月には立命館大学びわこ・くさつキャンパスが開学した。開学当初は理工学部の1学部のみであり、その学生数も約4,600人であったが、2012

¹³ 草津市は1980年に第2次草津市総合開発計画を策定し、南部副都心整備構想を提唱した。

年現在では7学部7研究科となり、学生数も約18,000人になっている(表2-2)。

立命館大学が新キャンパスを建設する際、数ある立地の候補地のうちから草津市を選んだ理由としては、名神高速道路と京滋バイパスの結節点として陸上交通の要衝であったこと、南草津駅の建設予定があったこと、南草津駅から山手に幹線道路を整備する計画があったこと、大企業の工場が集積していたこと、県内の子ども数が増加傾向にあるにもかかわらず大学の数が少なかったこと等が挙げられ、産学連携における今後の展開やネットワークを重視した戦略があったとも言われている¹⁴。

そして、この1994年の南草津駅の竣工と立命館大学びわこ・くさつキャンパスの開学を機に、南草津一帯では急速に宅地開発が進み、駅前にいくつかの大型マンションが建設される等、新たな住民の増加とともに10数年の間に駅周辺は大きく様変わりした。



出所：草津未来研究所撮影 2012. 11. 19

図2-3 南草津駅西口前のマンション群

¹⁴ 1989年に立命館学園と滋賀県、草津市との間で公私協力の覚書が交わされ、草津市での新キャンパス開設が決定的となった(立命館百年史編纂委員会 2013：526-562)。



出所：草津未来研究所撮影 2012. 11. 19

図 2-4 南草津駅と西口前のロータリー

表 2-2 立命館大学びわこ・くさつキャンパスの学生数

【学部】									
	入学定員	編入定員	1回生	2回生	3回生	4回生	5回生	最低在学年限超過者	合計
経済学部	735		763	787	741	853		254	3,398
経営学部	760		788	810	831	915		281	3,625
理工学部	872	32	959	1,054	963	978		325	4,279
情報理工学部	440		472	569	430	469		171	2,111
薬学部	100		101	113	134	91	92		531
生命科学部	280		313	312	283	268		71	1,247
スポーツ健康科学部	220		218	242	226				686
合計	3,407	32	3,614	3,887	3,608	3,574	92	1,102	15,909 (A)

【研究科】	
	合計
経済学研究科	95
経営学研究科	98
理工学研究科	1,175
テクノロジー・マネジメント研究科	145
スポーツ健康科学研究科	55
情報理工学研究科	148
生命科学研究科	124
合計	1,840 (B)

(A) + (B) = 17,749人

出所：立命館大学ホームページより作成

現在の南草津の世帯数、世帯人員、住宅所有の内訳については図 2-5 のとおりである。南草津での持ち家比率は 45.3%であり、草津市全体では 55.4%であるから、南草津は草津市全体より持ち家に住む世帯が 10.1%少ないこととなる。

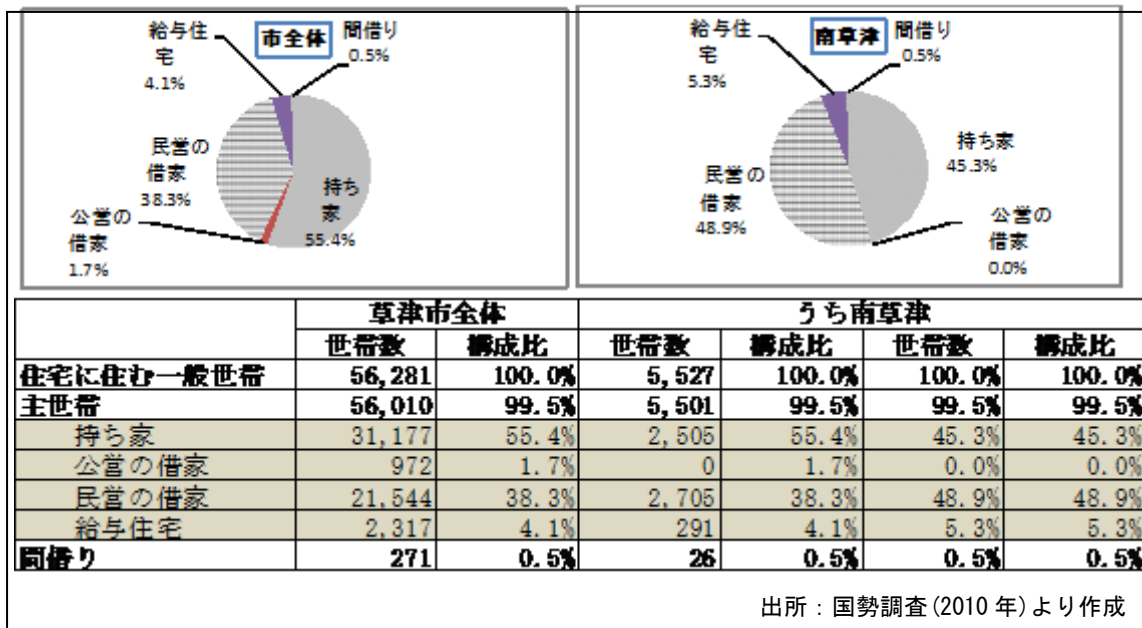


図 2-5 住宅の所有関係

また、南草津の一般世帯の構成の内訳は、図 2-6 のとおりである。南草津は、単独世帯が 52.0%、核家族が 43.3%であり、草津市全体ではそれぞれ 42.4%と 49.3%であるから、南草津は市全体より単身世帯が 9.6 ポイント高く、核家族が 6.0 ポイント低いことがわかる。

これら住宅所有関係や世帯構成比から、多世代同居が少ない状況がわかり、都市化が進む草津市¹⁵とそのなかの南草津の現状がわかる。

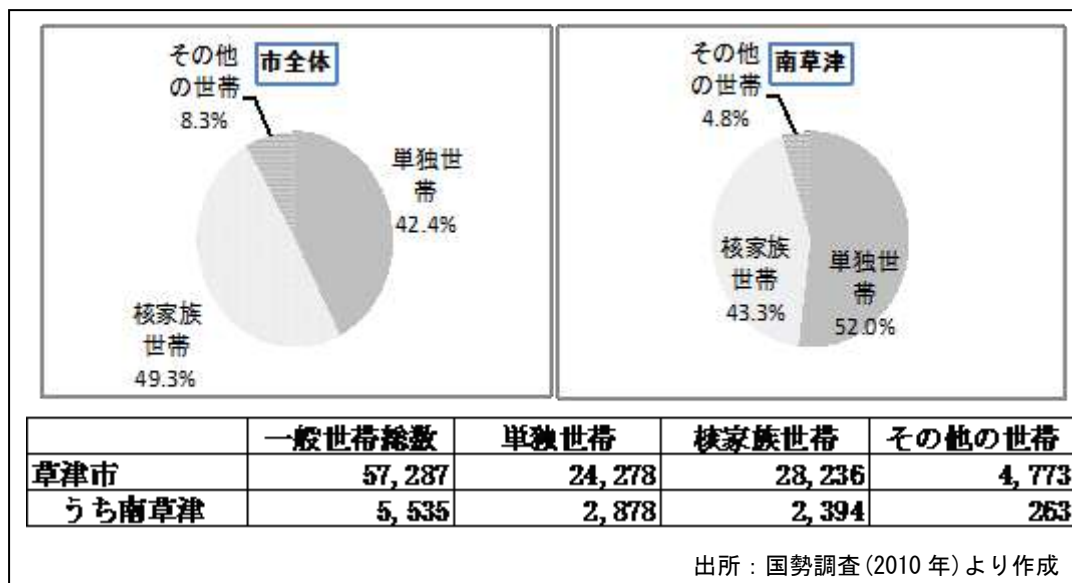


図 2-6 一般世帯の構成の内訳

¹⁵ 単身世帯と核家族世帯を合わせた割合は、滋賀県内市町のうち草津市が最も高い(91.4%、2010年)。

3 地域と住民との関係

住民の数については、住民基本台帳と国勢調査で隔たりがあるが、南草津駅周辺¹⁶ではこの隔たりが特に大きく現れている。

図 2-7 で 2010 年 10 月 1 日現在の草津市全体の総人口を見てみると、草津市全体では、住民基本台帳が 122,423 人であるのに対し、国勢調査は 130,874 人である。一方、南草津駅周辺では、住民基本台帳が 11,002 人であるのに対し、国勢調査は 13,012 人である。

草津市全体で 6,942 人の隔たりがあり、南草津駅周辺で 2,010 人の隔たりがある。これは、草津市全体と南草津駅周辺でそれぞれの住民基本台帳ベースの人口を分母にした場合、隔たりが前者は 1 割に満たないが、後者は 2 割に迫る勢いであることを示している。

また、年齢層ごとに比較してみると、人口ピラミッドからも明らかであるが、15 歳から 24 歳までの年齢層で最も隔たりがある。これによれば、同年齢層では、草津市全体で 31.0% (19,489 人中 6,049 人) の人が住民登録しておらず、なかでも南草津駅周辺では 53.5% (2,591 人中 1,387 人) の人が住民登録をしていないことがわかる。

住民登録をせずに住んでいる若者は、転勤等で一時的に住むサラリーマンも考えられるが、近隣のびわこ文化公園都市内に大学が 3 箇所あることや町内会長の話¹⁷等から、その多くが大学生であることが推察できる。

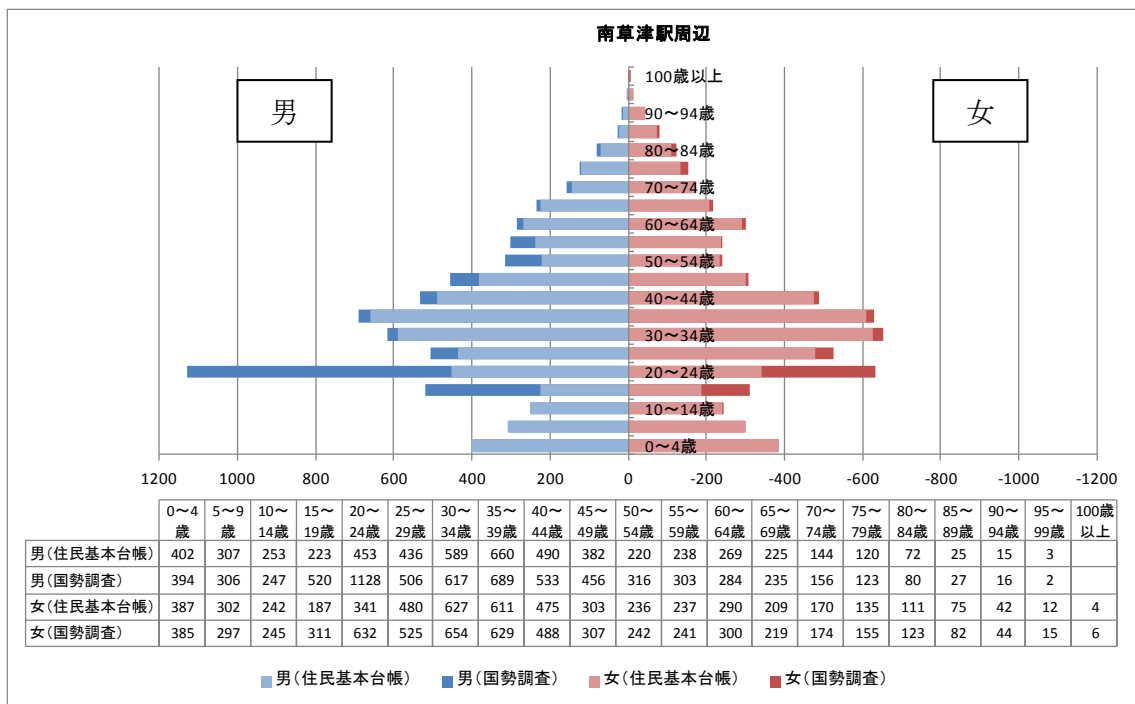
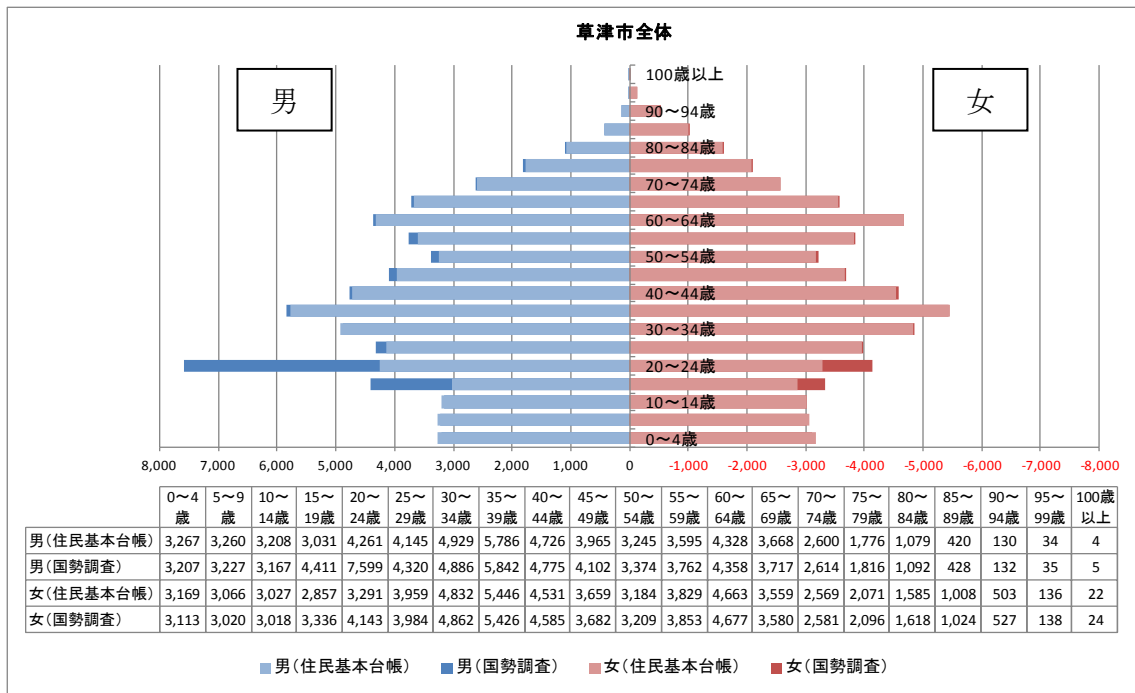
このことは、「住民を対象とする行政を適正に行い、また、住民の正しい権利を保障するため」¹⁸にも望ましいことではなく、危機管理上でも問題となり得る可能性がある。

なお、参考までに先の町内会長によれば、町内会に加入している者のうち、ワンルームマンションに住む単身の学生が多くいるが、彼らが清掃等の町内会の行事に参加することは少なく、コミュニティが希薄化する一因にもなっているようである。

¹⁶ 特徴をわかりやすく捉えるため、P10 で定義した南草津に野路町、野路 3～4、7～9 丁目を加えた数値を用いて比較した。

¹⁷ 野路町内会長への野路町の現状についての聞き取り調査による (2012 年 9 月 26 日)

¹⁸ 「住民基本台帳法等の施行について」(自治事務次官通知、1967 年 9 月 25 日自治振第 147 号)



	草津市全体				南草津			
	男	女	合計	うち15歳~24歳	男	女	合計	うち15歳~24歳
住民基本台帳 A	61,457	60,966	122,423	13,440	5,526	5,476	11,002	1,204
国勢調査 B	66,869	62,496	129,365	19,489	6,938	6,074	13,012	2,591
差 A-B	-5,412	-1,530	-6,942	-6,049	-1,412	-598	-2,010	-1,387

出所：国勢調査(2010年)および草津市住民基本台帳(2010年)より作成

図 2-7 草津市全体と南草津駅周辺の人口分布の比較

4 商業の偏りから見る駅前の様相

南草津では商店街連盟のような業種横断的な公式の組織がなく、草津商工会議所に属している商店も少ない¹⁹。南草津の商店に連携の呼びかけを行っている飲食店の個人経営者によれば、費用対効果の面で資金を出してもそれに見合ったメリットが見えにくいため、南草津の商店間の横のつながりをつくって地域一帯を面で見せる取組みを行うのも難しいようである²⁰。

南草津のまちのスポンサーの役割を担う者がいないこの状況を戸所の言葉を借りれば、町衆がいないとみることもできる。町衆とは、「自分が生きる地域の過去・現在・未来を語れ、その地域を時代の変化に対応して良くしていこうと自己実現できる人」（戸所 2010: 10）であり、多くの場合、その重要な役割を地元の商業者が担っている。南草津はまだ商業地としての歴史が浅いことと、商店の業種の構成がそのような状況を生み出しているとも考えられる。

ここで、南草津の商店の業種の割合を見てみると、2012年3月時点で図2-8のとおりであった。飲食店（67店舗）と美容サービス関連の店舗が際立って多く、全体の50%の割合を占めている。一方、用品を売る店の割合は少なく、17%にとどまっている²¹。

なお、飲食店のなかでは、居酒屋やバー等の遊興飲食店の割合が約半分を占め、一定程度、対象者が絞られていることがわかる。業種の割合と立地から考察すれば、南草津には、日中は主に美容を求める若者や女性が集まり、夜は居酒屋で飲食を求める男性が多く集まる様相があるものと推察できる。

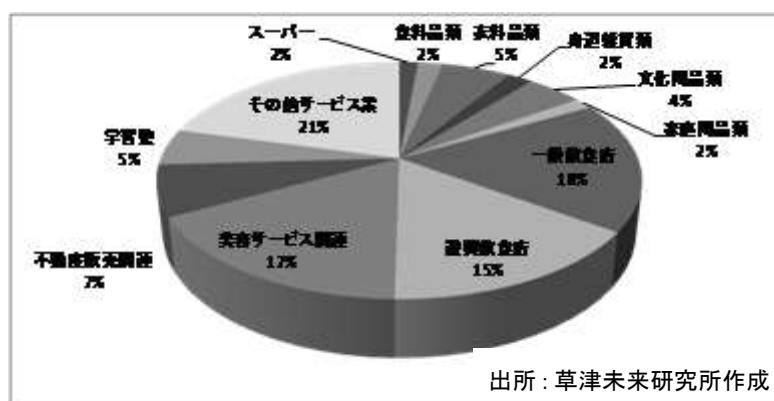


図 2-8 南草津の商業の割合

¹⁹ 2012年8月21日、草津商工会議所職員にヒアリング調査を実施した。

²⁰ 2012年9月30日、立命館大学サービスラーニングの学生3名とともにヒアリングを実施した。

²¹ 2012年2月9日、当研究所による南草津の現地踏査により、外部からの目視で店舗用途を調査した。

5 都市施設等から見る拠点機能の弱さ

南草津の都市機能を分析する際に、都市施設の立地状況は1つの手がかりとなる。対象とする都市施設は、都市計画法第11条で示された都市施設（空地、水路、住宅、流通業務団地、そのほかの施設を除く）とそれに準ずる施設とする。

本来であれば、その施設で提供されるサービスの内容や規模にも配慮する必要があるが、ここでは数に着目することとし、それを一覧にしたものが表2-3である²²。

表2-3 都市施設等（都市計画法第11条関連）

分野	詳細	南草津	隣接（圏域から200メートル圏内）
交通	鉄道	JR南草津駅	なし
生活	市役所	市民交流プラザ	玉川市民センター
	公園（都市公園）	南草津西公園 南草津北公園 さわ公園 東山道記念公園 はさま公園	野路蓮池グラウンド
	公園（街区公園）	野路岡田児童遊園 野路小林児童遊園 野路姥ヶ尻児童遊園	野路池之尻児童遊園 馬池北児童公園 野路中央児童遊園 馬路南児童遊園 野路中山田児童遊園 野路片原児童遊園
	生活環境	草津警察署南草津駅前交番 墓地 1 斎場 1	湖南広域消防局南消防署 草津玉川郵便局
	商業施設	総合スーパー 4	総合スーパー 1
	娯楽	銭湯 1 総合娯楽施設 1	総合娯楽施設 2 ゴルフクラブ 1
医療	病院	総合病院 1 内科 2 小児科 1 精神科 3 産婦人科 1 整形外科 1 皮膚科 1 歯科 7 眼科 2 耳鼻咽喉科 1	内科 1 歯科 1 眼科 1
福祉	保育園	ののみち保育園	野路保育園
	高齢者施設	特別養護老人ホームやわらぎ苑	なし
教育	幼稚園	なし	老上幼稚園 矢倉幼稚園
	学校	なし	老上小学校 老上中学校 玉川小学校 矢倉小学校 光泉中学校 光泉高等学校
	公民館	なし	玉川公民館
	図書館	南草津図書館	なし
	文化ホール	しが県民芸術創造館	なし
	スポーツ施設	民間会員制室内運動施設 2	なし

出所：草津未来研究所作成

²² ゼンリン住宅地図（2012年11月）および2012年11月の現地調査による。

駅周辺の施設の数だけを見れば、福祉機能を備える施設と生涯学習も含めた教育機能を備える施設が少ないことがわかる。さらに詳細を見てみると、福祉分野の現在の都市施設では定員が周辺の人口規模のわりに小さく、利用できる人も限られている。また、教育分野の現在の都市施設では、子どもの教育のための幼稚園や学校はなく、市民交流プラザの貸館スペースがあるものの、近隣の大学や商業者を十分に生かした生涯学習の場にはなっていない。

さらに、回遊性のある場所の不足や長時間滞在する場所が不足していることもわかる。南草津には、表 2-4 のとおり都市公園が 5 箇所あるものの、比較的小規模であり、周辺施設との連携も見られないため回遊性に乏しい。一人当たりの都市公園の面積を見てみても、市全体は 4.73 m²であるのに対し²³、南草津は 1.66 m²となっており、公園自体が不足気味であることもわかる。

表 2-4 南草津の都市公園

	公園名	面積 (m ²)	所在地
1	はさま公園	2,003	野路一丁目4番9号
2	南草津駅東山道記念公園	5,095	野路町字片原3034番地他
3	南草津北公園	2,492	野路町字岡田765番1他
4	さわ公園	1,491	南草津四丁目8番
5	南草津西公園	1,292	南草津三丁目31番

	面積 (m ²)	人口 (人)	一人あたり面積 (m ² /人)
草津市全体	590,141	124,624	4.73
うち南草津	12,373	7,426	1.66

出所：草津市公園緑地課提供資料より作成

また、南草津の都市公園 5 箇所のうち 3 箇所の公園には 2013 年 2 月現在で遊具が設置されていない。これは、区画整理内の公園であるため、住民の声を聞きながら遊具設置を進めていくという開発当初からの計画ではあるが、住民にそのことが十分理解されているかは定かではない。例えば日常的に公園を利用者している人に聞いてみると、「なぜこんなに小さな子どもが多い地域に遊具がないのか不思議」²⁴と

²³ 前出の全国都市のサステナブル度評価では、草津市は 630 都市中 471 位である。

²⁴ 2012 年 11 月の平日の昼前に南草津西公園を利用していた 2 組の親子からのヒアリングおよび子育てサークル「玉っこひろば」代表者からのヒアリングによる。

いう声も聞かれる。また、先の5つの都市公園内では、近隣の住民の迷惑になるとの理由でボール遊びが禁止されており、その使い勝手の悪さからグラウンドがあっても閑散とした状態であり、コミュニティ形成の場として十分に機能しているとは言い切れない。



出所：草津未来研究所撮影 2012. 11. 19

図 2-9 南草津西公園の日中の風景



出所：草津未来研究所撮影 2012. 11. 19

図 2-10 南草津北公園に設置された総合遊具

6 地域の声から見る南草津の一側面

(1) 南草津の強みと弱み

南草津まちづくり研究会では、南草津のSWOT分析を行い、そのなかで内部の強みと弱み、外部の機会と脅威について整理した（参考資料 2）。強みについては、南草津駅から新快速で京都駅まで 17 分、大阪駅まで 47 分と京阪神に近いこと、工場の集積と大学の立地状況から生産年齢人口を集めやすい都市構造であるということ等が挙げられた。地の利に関する意見が多く特徴的であった。

また、弱みについては、憩いの場としての魅力の未成熟なこと、住民間または住

民とまちのつながりが希薄なこと等が挙げられた。まちの質感を高めるための意見が多く特徴的であった。

その他、機会については新快速停車によって通勤・通学圏が広がったこと、脅威についてはグローバル化と世界経済の景況による製造業の製造拠点の不安定さが挙げられた。

これらをもとに南草津まちづくり研究会²⁵では議論を行い、後述する「南草津まちづくり企画案」を作成し、南草津に不足しているものやこれからの南草津のあるべき姿について検討した。

(2) 不動産業者の声

南草津で居住を検討している人の地域へのニーズを探るため、南草津に販売事務所がある不動産業者または南草津で住宅販売を手がける不動産業者 10 社に対し、ヒアリング調査を行った²⁶（参考資料 3）。その結果、いずれの業者においても、「駅に近く、発展し続ける、新しいまち」というイメージをもった顧客が来ていることがわかった。また、職場への利便性を求めて来る顧客が多いため、居住場所で他に検討している場所は事業所が多い草津、瀬田、石山を候補地とする傾向があるようである。

さらに、南草津駅が 2011 年 3 月に新快速停車駅となってからはいずれの業者でも顧客が増え、それまでは空室が目立っていた駅前の分譲マンションも完売となり、賃貸アパートは現在でも新築物件の応募が始まると、2 週間程度ですぐに満室になる状態が続いているようである。

これらのことは、裏を返せば、南草津より利便性の良い場所があれば住民が短期間で一気に流出してしまう危険性をはらんでいることを意味している。

そのほか、南草津は周辺地域と比べると地価が高く、戸建は 1 区画 180 m²以上という条件²⁷もあって、顧客は新築で戸建を建てるよりも分譲マンションや賃貸アパートを選択する傾向があることも調査により明らかになった。

²⁵ 南草津のまちづくりの将来ビジョンを検討するため 2012 年 1 月から 2013 年 3 月まで設置したものであり、立命館大学、草津商工会議所、草津市役所のメンバーで構成されている。

²⁶ 2012 年 11 月から 12 月にかけて立命館大学大学院地域共創准研究員と共同調査を行った。

²⁷ 野路西部地区地区計画（2006 年 4 月 28 日草津市告示）

(3) 地域住民の声

南草津が都市整備される際に地元の人々が理念を共有し、新しくできるまちに込めた想いを知る手がかりが、南草津駅西口前の東山道記念公園にある。2010年の野路西部土地区画整理事業の際に建てられた記念碑に刻まれている文章がそれである（参考資料 4）。そこには、南草津で多くの人々が出会い、活発な交流によってまちが成長し続けていくことを求める記述がある。

しかし、現状をみてみると、若い世代を中心に多くの人々が行き交うようになったものの、大学も企業もキャンパスや工場内で日中の生活が完結することができるため、産官学の活発な交流はあまり進んでいないようである。また、先の表 2-3 によれば、新たな交流を生む機能をもつ都市施設のうち、最たるものが講座機能と貸館機能をもつ市民交流プラザ（野路一丁目 15-5）であるが、いずれも小規模であり、費用対効果等から民間でできる広報手段も限られているため、産官学の交流の広がりについても限界がある。そのほか、都市公園（前出表 2-4）も小規模であること等から、市民の憩いの場として成熟しておらず、イベントの開催も難しく、新たな交流も生まれにくくなっている。

しかし、一方では子育てサークルを通じた交流も生まれ始めている。かつて、市民交流プラザで子育て連続講座を受講した母親たちが、講座終了後に自主的に子育てサークル（2005年にはNPO法人元気っずミーオとして法人化）を作り、その参加者がしだいに増え、最終的に活動場所が手狭になって私立保育園を開設した（2008年）という事例もあった²⁸。

そして、その後も南草津には子どもが増え続けていることを受け、先のサークルの経験者が核となり、2012年には再び新たな子育てサークルとして「玉川学区子育て応援団ネットワーク玉っこひろば」が立ち上がっている。ここの主な対象者は未就園児の親子であるが、子どもを応援する者であればとくに参加の制限を設けていないのが特徴である。実際、現地調査時でも、立命館大学生や更生保護女性会の高齢女性、さらに写真撮影のボランティアとして単身の高齢男性の参加があった。

その子育てサークルで保護者を対象に南草津に関する不満を聞いた調査²⁹では、

²⁸ 2009年、NPO法人元気っずミーオ代表兼さくら坂保育園の園長へのヒアリングを実施した（坂居 2010）。

²⁹ 2012年 11月 12日、立命館大学大学院地域共創准研究員と共同調査を行った。

下記のような意見が出た。買い物のしやすさ等の住環境には満足しているものの、子どもを連れていける場所が少ないことへの不満はあるようである(参考資料5)。

- ・南草津駅周辺の公園に遊具がなく、子どもを遊ばせることができない
- ・雨の日に子どもを遊ばせる場所がない
- ・駅周辺に保育所がなく、駅を利用して通勤するにもいったん遠ざかって往復する動線になってしまう
- ・子育てサークルを除くと、子どもを連れて行く場所が駅前のスーパーか図書館ぐらいしかない
- ・子育てサークルが学区民や市民で限定されている場所が多く、生活圏に合っていない



出所：草津未来研究所撮影 2012. 11. 12

図 2-11 東山道記念公園内の記念碑



出所：草津未来研究所撮影 2012. 11. 12

図 2-12 子育てサークルの活動の様子（玉川市民センター）

そのほか、交通の分野においては、慢性化している南草津の交通渋滞に対しても「草津市民の交通に関するアンケート調査」³⁰において、地域住民から改善を望む声も聞かれる（図 2-13）。これらの交通の問題に対しては、公共交通を軸とした今後 10 年間の交通戦略を考える取組みとして、2012 年 9 月から草津市総合交通戦略協議会³¹で検討が始まっている。

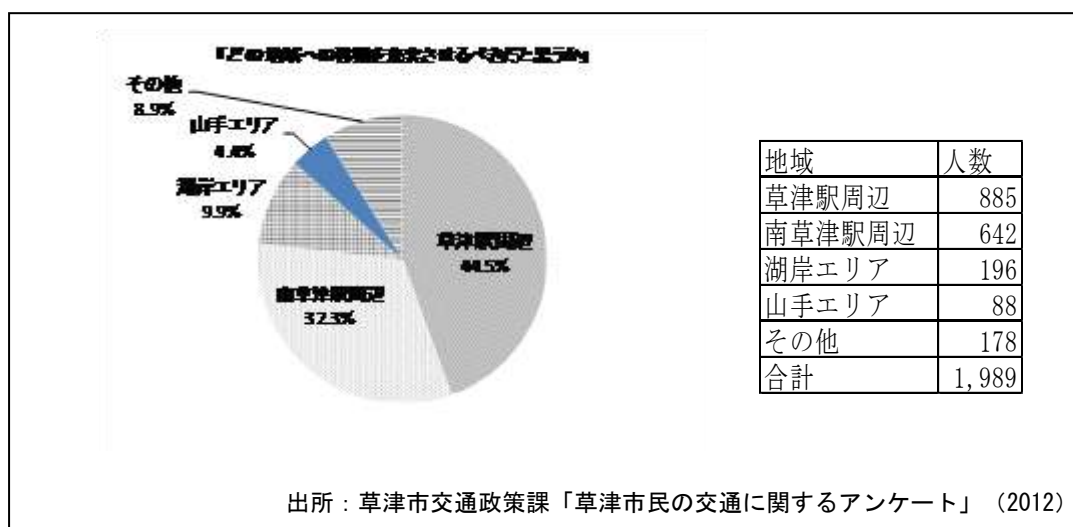


図 2-13 草津市民の交通に対する意識調査結果

(4) 立命館大学生の声

立命館大学びわこ・くさつキャンパスは、南草津駅から路線バスで約 10 分の場所に位置している³²が、電車を利用する学生は、駅と大学を往復するだけで南草津のまちを知ることなく学生生活を終えているのではないかとの懸念がある。実際、大学生活 4 年間のうちで、駅と大学の間を一度も歩いたことがないという学生もいる。

そこで、「立命館大学生が南草津に対して愛着をもち、第二のふるさとといえるようになるためにはどのような体験機会が必要なのか」ということを調査した（参考資料 6）。この調査結果を整理すると、回答は大きく「人、場所、文化」の 3 つ

³⁰ 草津市交通政策課が、2012 年 11 月から 12 月にかけて、18 歳以上の草津市民 6000 人を対象として、現況の交通行動や公共交通サービスの満足度と重要度を把握することを目的に実施した調査である。

³¹ 2012 年 9 月から 2 年かけて行う協議会であり、草津市交通政策課が事務局となり、住民、運輸業者、学識経験者、警察等の 19 名で構成されている。

³² 時刻表上は 10 分で行けることになっているが、実際は交通渋滞の影響で 20 分程度かかることもある。

の 카테고リーに分類でき、人に出会える機会があること、まちに居場所があること、まちの文化を感じる事が重要な要素であることがわかった。

また別の調査では、立命館大学3年生700名を対象に「滋賀県草津市にはどのような観光資源が存在するか」というアンケートを行っている。回答の多い順に5つ挙げると、①琵琶湖(97名)②学生・大学(93名)③自然(61名)④草津宿本陣(53名)⑤立命館大学(38名)という結果になっている³³。南草津の特有なものは学生と大学であることが意識調査からもわかった。

立命館大学生から多くの不満の声を聞くのが、南草津駅から立命館大学までの交通の問題である。路線バスは、平日の多いときで、午前8時台のピーク時に1台に50人から70人の乗客が同時に乗車する状況³⁴である。そしてまた、幹線道路の交差点の慢性的な交通渋滞は、午前中の講義開始時刻前の到着を急ぐ学生にとってはとくに不満が多いようである³⁵。

また、自転車を通学に利用する学生も、南草津駅から立命館大学まで約3kmの道のりのうち約2.5kmの坂道を上っていかなければならない状況であり、不満の声もあるようである³⁶。

³³ 2012年10月30日、立命館大学経済学部金井萬造教授の講義の中で、学部生の東野光氏によって調査が行われた。2012年度の環びわ湖大学・地域コンソーシアムでの採択事業でもある。

³⁴ 近江鉄道株式会社から提供の路線別動態調査集計表より(2012年4月調査分)。

³⁵ 2012年に立命館大学のサービスマーケティングで草津未来研究所に来ていた学部生7名からの聞き取りによる。

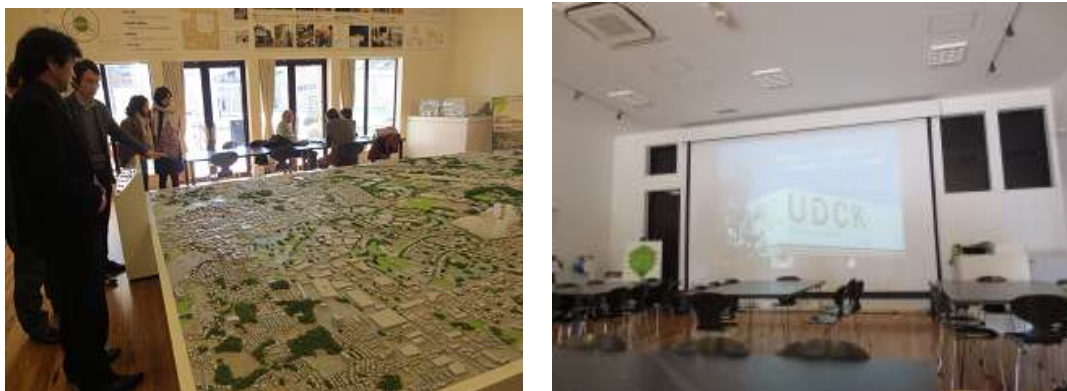
³⁶ 同上

第3章 南草津のあるべき姿

1 事例から見る駅前の都市機能

(1) 開かれたまちづくりの場：柏の葉アーバンデザインセンター（千葉県柏市）

約 230 m²のスペースに市民や教員、企業担当者等が絶え間なく出入りし、それぞれが思い思いの場所で専門家とまちづくりについて熱く、ときには気軽に議論を交わす場所がある。千葉県柏市にある柏の葉アーバンデザインセンター（以下、UDCK）である。



出所：草津未来研究所撮影 2013. 1. 30

図 3-1 UDCK の内部の風景

アーバンデザインセンターとは、開かれたまちづくりの場のことを意味しており、具体的には表 3-1 の 3 つの資質を備えたまちづくりの場と定義されている（アーバンデザインセンター研究会 2012： 9）。UDCK は国内初のアーバンデザインセンターであり、交流の拠点の見える化から机のレイアウトまで、あらゆるところに都市空間デザインの手法が取り入れられ、活発な活動が行われている。

表 3-1 アーバンデザインセンターの資質と側面

資質	①連携による空間計画 （開かれた組織）	②専門家の主導 （開かれた人材）	③拠点と見える化 （開かれた施設）
側面	新しい公共	アーバンデザインの技術	文化発信拠点
	まちづくりセンター	大学の貢献	市民交流拠点
	エリアマネジメント	自治体の職能開発	都市再生拠点

出所：アーバンデザインセンター研究会 (2012)

UDCK は、つくばエクスプレスで東京都心から約 30 分の場所に位置し、新たな都市開発が進む柏の葉キャンパス駅前にあるシンボリックなデザインの平屋の施設である。2006 年に東京大学教授の北沢猛³⁷の提唱をきっかけとして、東京大学、千葉大学、千葉県、柏市が共同で創設した新たな産業と文化の創造拠点である。

2007 年に四者が共同で策定した「柏の葉国際キャンパスタウン構想」がこの地域の強力な推進力となり、「国際学術都市」と「次世代環境都市」という 2 つの将来ビジョンに向かって「公・民・学の連携」が進んでいる。

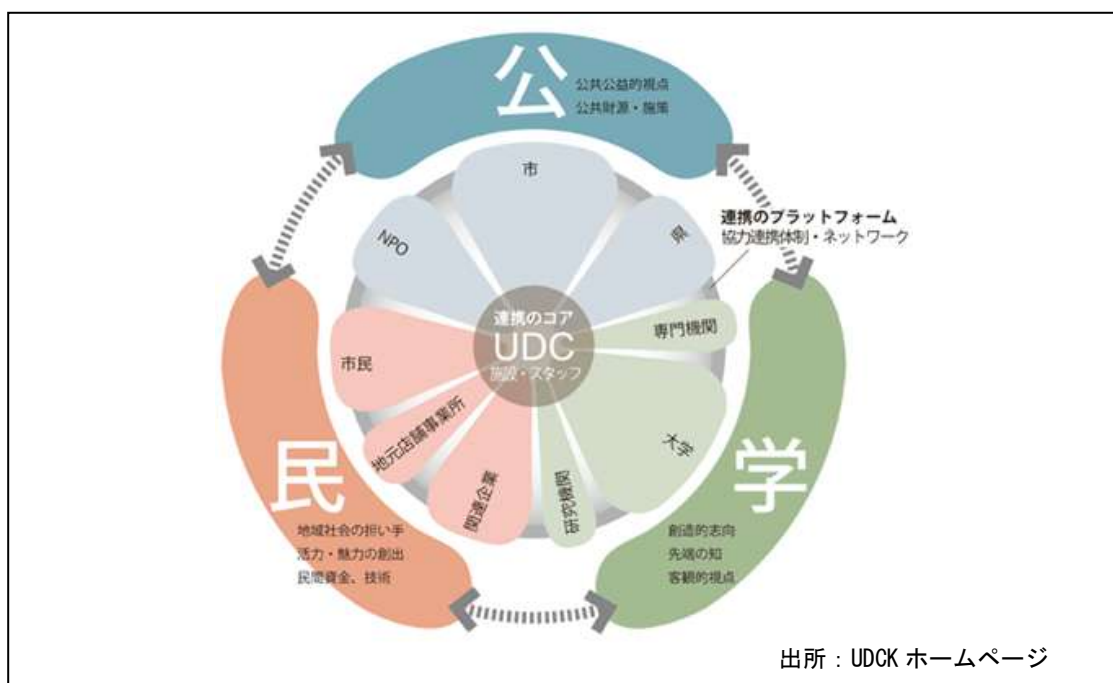


図 3-2 公・民・学の連携によるマス・コラボレーションのイメージ

UDCK 施設内の交流も盛んであり、2013 年 1 月の視察時点でも、絶え間なく UDCK に企業担当者や市民が訪れ、施設内の約 50 席の座席はほぼ満席状態であった。UDCK を担当する柏市役所の担当者自身も UDCK 内での会議が年間約 600 回あるということであった³⁸。

³⁷ 当時は横浜市の都市計画室長であったが、その後、初代 UDCK センター長に就任することとなった。

³⁸ 2013 年 1 月 30 日に現地視察を行い、担当者からヒアリングを行った。

また、視察時、施設内やまちなかでは植物工場³⁹やマルチ交通シェアリング⁴⁰等の 42 の実証実験が継続中であった。特筆すべきは、すべての実証実験が、企業と大学からの費用負担で自治体からの支出はなく、特区申請や法解釈の場面で国と交渉することを自治体の主な役割としているしくみである。

UDCK には直接雇用の正職員は存在せず、多様な主体からの派遣で成り立っている。UDCK では、日々多様な関わりが生まれているため、方向性を見失わないためにも明確な検討課題を UDC アジェンダというかたちで定めている。これは多様な主体が開かれたまちづくりの場でまちづくりの方向性を共有する際にも参考になる。

表 3-2 アーバンデザインセンターのアジェンダ

UDCアジェンダ2011
1. 公・民・学連携の拠点となる
2. 明確な目標と戦略を打ち立て実行する
3. 常に具体のフィールドで活動する
4. 都市空間のデザインを担う専門家が主導する
5. 新しいアイデアに挑戦し続ける
6. 一人一人が活動をエンジョイする
7. 最新の情報を広く公開し、共有する
8. UDCネットワークを全国へ、そして世界へ

出所：アーバンデザインセンター研究会(2012)



出所：草津未来研究所撮影 2013. 1. 30

図 3-2 マルチ交通シェアリングのポート

³⁹ 千葉大学と不動産業者が協力し、いちごとアスパラガスの栽培装置を飲食店に提供する実証実験を行っている。

⁴⁰ 東京大学と自動車メーカー等が協力し、エコカー、電動バイク、自転車の 3 種類の乗り物を地域内で好きなときに好きな時間だけ乗って移動するしくみについての実証実験を行っている。

(2) 住む人が老いることを考えたまち：ユーカリが丘（千葉県佐倉市）

比較的短期間に新しく形成されたまちの場合、住む人が老いることを考えることも重要な視点となる。短期間に住宅開発が進んだまちは、開発時にはまちに活気があったとしても、30年、40年後には彼らが同時に定年を迎えることとなることから、状況が一変する可能性がある。居住者が高齢化するに連れて食料や日用品の購買量が減り、地元商業の衰退が起こって、居住者もその地から出て行くという負のスパイラルも起こり得る。1970年代に一気に住宅開発が進んだ多摩ニュータウン（東京都多摩市）や千里ニュータウン（大阪府吹田市、豊中市）では、すでにその現象の一端を見ることができる⁴¹。

また、分譲販売された大型集合住宅では、計画外の大規模修繕や建て替え時には区分所有者の5分の4の総意を得る必要があるため、不測の事態や老朽化に対しての建て替えが難しいのが現状である。また、人口減少が続くなかで、住民の世代交代が半永久的に継続し、今後も他の地域から若者を集めていくことができるといふ保障もない。

このようななか、千葉県佐倉市のユーカリが丘では、40年以上に渡って毎年200戸ずつの住宅販売を手がけ、身の丈に応じた開発を行い、住民が年を重ねても住み続けることのできるまちづくりを実現している事例として参考になる。高度成長期から現在まで、メガスケールの開発を行わず、ヒューマンスケールで開発を行った結果、まちに時代の変化を取り入れることができ⁴²、エリアマネジメントをしながら、常に発展を続けているまちの好例である。

ユーカリが丘は、電車で東京駅まで47分、都心から38km圏内に位置し、総面積245万㎡、計画人口17,000人のまちである。地元の不動産業者が一手に開発を担っているのも特徴的であるが、1971年の開発着手以降、独自に住みやすさを追及し続け、40年以上に渡って人口が増え続けている。ユーカリが丘にはモノレールが通り、どの家からも駅まで10分で行けるよう設計されている。2012年11月現在で16,722人、6,480世帯が住むまちとなっている⁴³。

⁴¹ 詳しくは福原(1998)を参照のこと。

⁴² 交通インフラや情報インフラについても常に時代の最先端技術を取り入れるゆとりをもった開発が進んでいる（2013年1月31日佐倉市役所都市部ヒアリング調査）。

⁴³ ユーカリが丘公式ポータルサイト「統計資料」（<http://town.yukarigaoka.jp/bureau/press/3480/>、2012年12月27日閲覧）

「すべての世代にやさしく、安心して住み続けられる街」、「千年先までも発展し続ける街」をまちの基本理念とし、「文化の発信」「安心・安全の街づくり」「少子高齢化対策」「環境共生への取り組み」「高度通信技術の導入」という5つのコンセプトに沿ってまちづくりが進められている。

東京都多摩市の老朽化したニュータウンとは対照的に、開発業者が開発当初から長期的なビジョンをもち、住む人が老いることを考え、利益よりも住環境を優先して住民の年齢層が固まらないよう抑制しながら住宅販売してきた結果である。

開発業者の社長によれば、住み続けてもらうまちとなる重要な要素は、「自然環境が豊か」「交通アクセスが便利」「生涯住み続けたいと思う住環境」の3点であるという⁴⁴。

とくに注目すべきは、「ハッピーサークルシステム」という住み替えの制度である。これは、先の開発業者が、住民のユーカリが丘内での住み替えを100%保証する制度であり、ライフスタイルに応じて居住環境を変えたいというニーズに応えるものである。例えば、世帯員が減って戸建からマンションに引っ越したいという高齢者に格安でマンションを譲り、空いた戸建をリフォームし、子どもが増えて戸建に引っ越したいという若い家族に売るといったかたちで、住み替えが行われている。これらの一連の作業をすべて一つの業者が担っていることもあり、売買の流れはスムーズである。ユーカリが丘の事例は民間業者によるところが大きい。草津市では直接参考にしにくいところではあるが、民間の担い手の発掘と、住み替えを促すインセンティブ等での誘導策は十分検討に値する。



出所：草津未来研究所撮影 2013. 1. 31

図3-4 ユーカリが丘駅前の風景

⁴⁴ テレビ東京『カンブリア宮殿』2010年9月13日放送分「不況でも売れ続ける驚異のディベロッパー～成長する街づくりビジネス～」



出所：草津未来研究所撮影 2013. 1. 31

図 3-5 ユーカリが丘線沿線の風景



図 3-6 ユーカリが丘のハッピーサークルシステム

2 南草津まちづくり研究会での一考察

2011年度に立命館大学、草津商工会議所、草津市役所のメンバーで組織する南草津まちづくり研究会を設置し、南草津の今後について検討するための基礎調査を行い、2012年度はその結果をもとにさらに議論を深めた。

2012年度には、南草津まちづくり研究会（以下、研究会）と南草津まちづくりワーキンググループ（以下、ワーキング）を置き、年度中にそれぞれ4回、5回の会議を行った⁴⁵。そのなかで、第3章で見た南草津の強みと弱み等をもとにしてワーキングの各メンバーが「南草津まちづくり企画案」を出し合い、テキストマイニングという手法を使って分析した（参考資料7、8）。

「南草津まちづくり企画案」とは、ワーキングにおいて「発案者自らがリーダーシップをとって進めていける実現可能性のある企画案」という趣旨で、各メンバーが提案したものである。企画書には背景・具体的内容・地域的優位性・期待される効果・想定される課題・進め方・その他の項目が設けられており、A4用紙1～2枚程度で企画案をまとめる体裁となっている。そのため、本企画案を分析することにより、各メンバーの視点を通して「南草津に不足しているものやこれからの南草津のあるべき姿」を把握することが可能となる。

各メンバーからは、全部で18の企画案が出され、その概要は表3-3のとおりである。各企画案から名詞のみを抽出し、重み付け等を行った結果、頻出する名詞は表3-4のようになり、各主成分では「一周」、「食」、「地図」を意味する言葉が最も使われ、ほかに「自転車」「施設」「花」を意味する言葉等もよく使われていることがわかる。これら頻出した言葉は、南草津の今後を考えるうえでのキーワードとして捉えることができる。

さらに表3-4の主成分の上位と下位でカテゴリー分類することで、南草津のまちづくりの施策を考えるうえでの考慮すべき軸を2つに絞ることができた。その2つの軸とは、「取り組みの方向性軸（都市施設←→人的資本）」と「成果の方向性軸（内的充実←→外的発信）」である。これらの2つの軸を用いてワーキングメンバー15人から出た18の企画案を分類したものが図3-8である。

⁴⁵ メンバーの詳細は参考資料8、9のとおり。



出所：草津未来研究所撮影 2013. 1. 16

図 3-7 南草津まちづくり研究会の風景

表 3-3 南草津まちづくり企画案概要

企画タイトル	略記	発案者性別	発案者所属
「ミナクサ☆ミチクサ」——追いも若きもスタディツアー「歩いてみなくちゃ」——	スタディツアー(ST)	男性	立命館大学
M3計画(みなくさ・まちなか・まち歩き計画)	まち歩き(WLK)	男性	草津市役所
RHRB (Ritsumeikan Human Resources Bank): 立命館人材バンク	人材バンク(HRB)	男性	立命館大学
まちづくりマップ作成	マップ(MAP)	男性	商工会議所
みなくさ朝市	朝市(ASA)	男性	立命館大学
南草津駅周辺・美観プロジェクト	美観(BIK)	女性	商工会議所
学生も住民！町内会加盟制度	町内会(CHO)	女性	立命館大学
咲くよ・みなくさ・インフィオラータ	インフィオラータ(INF)	男性	草津市役所
世界の食文化Village構想	食文化(FDV)	男性	立命館大学
草津市版フットパス“急がば回れ” in みなくさ ~ウォーキンググルメツアー~	フットパス(FTP)	男性	草津市役所
大型店舗集積事業	大型店舗(MAL)	男性	草津市役所
知域交流 ビブリオバトル@みなくさ	ビブリオ(BIB)	女性	立命館大学
地域の特産品—南草津ブランドーをつくる	ブランド(BRA)	女性	立命館大学
南草津・科学館構想	科学館(SC)	男性	立命館大学
課外活動を駅前で	課外(KAG)	男性	立命館大学
南草津コミュニティサイクル	サイクル(CYC)	男性	草津市役所
サイクルロードレースの誘致~サイクリングのまち・草津の実現	レース(RAC)	男性	立命館大学
南草津まちづくりコンペティション	コンペ(COM)	男性	草津市役所

出所：南草津まちづくりワーキンググループで作成

表 3-4 主成分とタームの関係

順位	第1主成分		第2主成分		第3主成分		
	ターム	係数	ターム	係数	ターム	係数	
上位20ターム	1	一周	-0.006	食	0.217	地図	0.506
	2	周回	-0.006	自転車	0.212	施設	0.233
	3	府	-0.006	花	0.191	南草津	0.215
	4	世界	-0.007	南草津	0.187	人	0.161
	5	建設	-0.007	利用	0.171	花	0.159
	6	体験	-0.007	店舗	0.170	本	0.139
	7	2	-0.007	滋賀	0.132	紹介	0.133
	8	ベトナム	-0.007	店	0.132	街	0.113
	9	岐阜	-0.007	周辺	0.122	まち	0.105
	10	高速道路	-0.007	設置	0.109	散歩	0.095
	11	神戸	-0.007	地図	0.107	自分	0.094
	12	大型	-0.007	県	0.106	子育て	0.087
	13	大阪	-0.007	型	0.100	世代	0.086
	14	福井	-0.007	性	0.094	公園	0.081
	15	自然	-0.008	開催	0.093	案内	0.077
	16	km	-0.008	整備	0.092	機関	0.066
	17	カテゴリー	-0.008	施設	0.090	作成	0.065
	18	サイクリスト	-0.008	街	0.088	関連	0.065
	19	サイクリング	-0.008	公園	0.088	中	0.061
	20	選手	-0.008	ポート	0.083	観光	0.058
下位20ターム	261	企業	-0.091	市民	-0.050	選手権	-0.063
	262	場所	-0.092	課外	-0.051	性	-0.067
	263	会	-0.094	町内会	-0.052	企画	-0.067
	264	性	-0.098	時	-0.058	市	-0.071
	265	食	-0.102	データベース	-0.059	連盟	-0.074
	266	店	-0.104	知識	-0.059	設置	-0.075
	267	企画	-0.105	交流	-0.067	ポート	-0.086
	268	実施	-0.108	派遣先	-0.074	食	-0.087
	269	開催	-0.115	下宿	-0.076	立命館大学	-0.089
	270	等	-0.115	BKC	-0.081	地域	-0.099
	271	住民	-0.120	マンション	-0.086	店舗	-0.102
	272	人	-0.138	派遣	-0.088	競技	-0.106
	273	者	-0.149	人材	-0.089	大会	-0.106
	274	周辺	-0.156	企画	-0.095	企業	-0.120
	275	立命館大学	-0.172	登録	-0.096	科学	-0.120
	276	活動	-0.183	地域	-0.100	利用	-0.120
	277	大学	-0.191	人	-0.114	県	-0.124
	278	地域	-0.327	大学	-0.114	滋賀	-0.132
	279	学生	-0.397	活動	-0.211	開催	-0.168
	280	南草津	-0.421	学生	-0.525	自転車	-0.288

出所：南草津まちづくりワーキンググループで作成

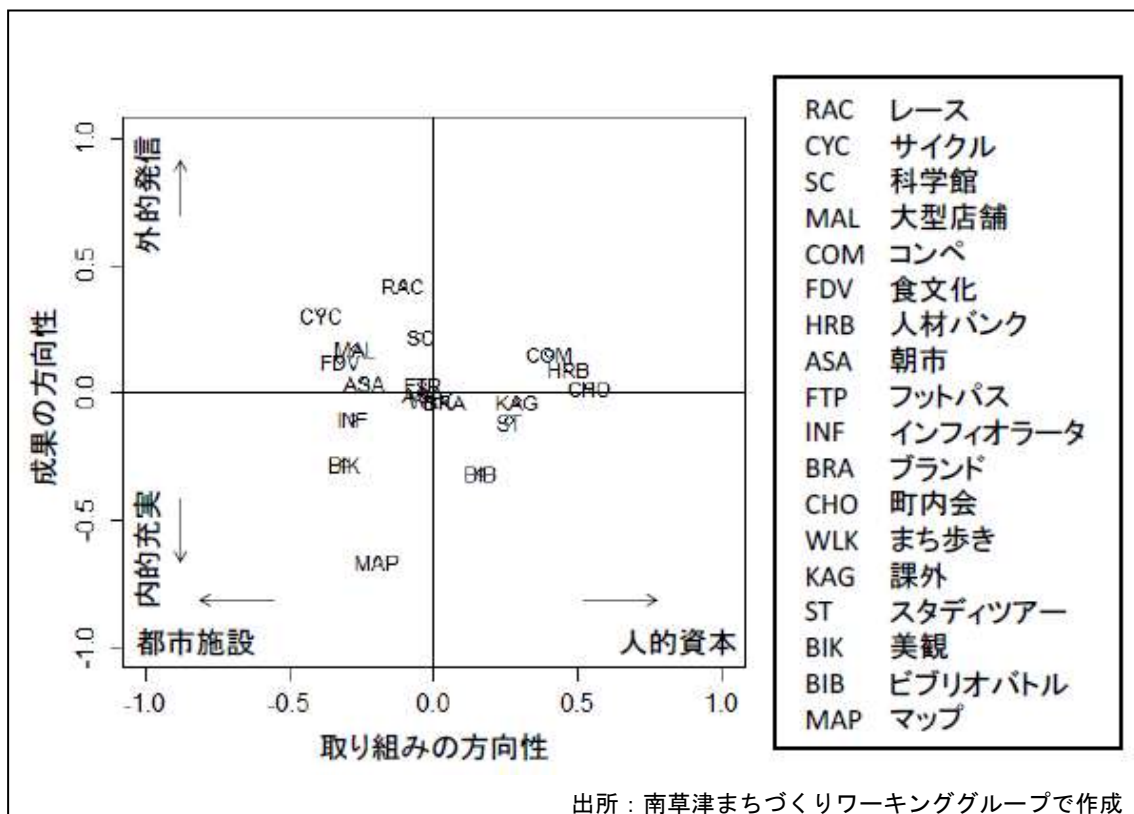


図 3-8 主成分得点による企画案のマッピング

これら企画案の詳細については、別紙（参考資料 9）で紹介しているが、ワーキングで議論が盛り上がったものから一例を紹介すると、次のようになる。

①ビブリオバトル（人的資本-内的充実型）

立命館大学の谷口忠大准教授の発案で全国的に広まりつつある、本の紹介コミュニケーションゲームである。「人を通して本を知る。本を通して人を知る」がキャッチコピーであり、参加者同士が自分のお気に入りの本に自らのエピソードを交えて紹介し合い、どの本が一番良いかを決める。立場や生活スタイルが異なる人同士をつなぐきっかけとなる。場所は南草津図書館または立命館大学内等が考えられる。

②咲くよ・みなくさ・インフィオラータ（都市施設 - 内的充実型）

花びらなどで道路や公園に模様を描くイベントである。南草津駅の周辺の公園に草津市産のカーネーションや青花を敷き詰め、アートの展示会をすること等が考えられる。住民はもちろんのこと、学生の参加と企業の協賛は不可欠である。

③南草津まちづくりコンペティション（人的資本 - 外的発信型）

「大学のまち」としてまちの一体化を図るため、学生を対象としたコンペを開催し、採択されれば、行政や企業が支援をして実現させる。行政と企業の資金面での協力は不可欠である。

④南草津・科学館構想（都市施設 - 外的発信型）

大学やものづくり系企業が立地する南草津のポテンシャルを活かすため、南草津に科学館を設置し、子どもに科学の面白さを伝える場をつくる。人が集える場所と維持管理に伴う資金の確保が必要である。

そして、これら4つの企画案とほかの14の企画案を合わせ、クラスター分析を実施し企画案を図3-9のように分類すると、次の3つのパッケージとして提案することもできる。

- ①立命館大学の学生力を活用し、地域活性化を図る取り組み
- ②都市インフラを整備し、南草津の新たな産業・魅力を外に発信する取り組み
- ③南草津の住民が主体となりソフト的にまちの魅力を高める取り組み

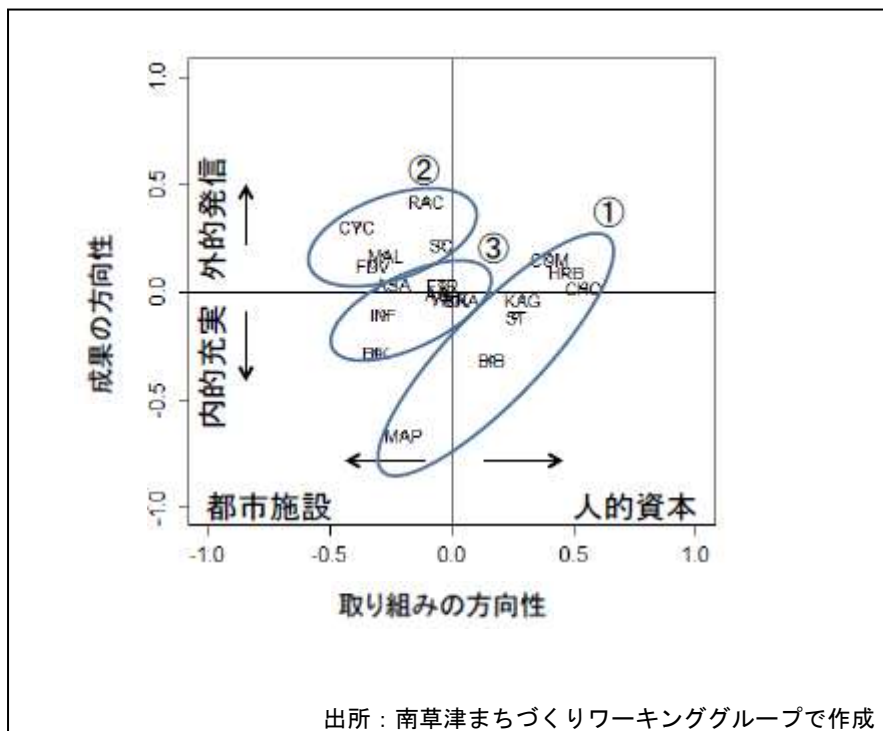


図3-9 主成分得点に基づくクラスター分析

3 副都心としての南草津の地域構造に関する考え方

研究会とワーキングでの議論も踏まえ、これまで見てきた南草津での集約型都市構造を考える際のキーワードを整理すると、「ヒューマンスケール」、「水平ネットワーク型都市構造」、「大都市化・分都市化」、「湖南 30 万都市」、「湖東トライアングル」、「南部副都心構想」、「町衆」、「コミュニティ」、「子育て」、「交通渋滞」、「立命館大学」、「公・民・学連携」、「住み替え制度」、「エリアマネジメント」等が挙げられる。なかでも南草津の強みを表すキーワードとしては、「立命館大学」と「公・民・学連携」が重要であり、弱みを表すキーワードとしては「コミュニティ」と「交通渋滞」が重要である。

南草津にすべての都市機能を集積することについては、ハード面や担い手の面から難しく、これからの水平ネットワーク型の社会においてはその必要もない。そのため、南草津は他の地域と都市機能のネットワークを強くもつ必要があり、そのことが今後の南草津の発展の鍵にもなる。

そして、それらの地域と水平ネットワークで連携していくために、他の地域にはない都市機能の充実を図ることを優先的に考えることが重要である。

そこで、南草津の強みと弱みから、副都心として機能強化すべき南草津の方向性について、次の3点を挙げた。南草津を周辺地域との関係性のなかでとらえ、短期的にはその強みを生かすことを優先し、中・長期的には弱みを克服していくことで、南草津の個性を際立たせ、南草津の持続可能性を高めることができる。

- ①立命館大学・草津商工会議所・草津市役所から始まる交流
- ②住みやすさの維持
- ③交通インフラの整備

①はすぐにでも取り組みを始めることが可能であるが、②と③はすぐに取り組みを始めることは難しく、中・長期的に取り組んでいく必要がある。

第4章 副都心として機能強化すべき南草津の方向性

1 立命館大学・草津商工会議所・草津市役所から始まる交流

前章で見たように、南草津を周辺地域との関係性のなかでとらえ、その強みを生かすことを優先し、中・長期的には弱みを克服していくことで南草津の個性を際立たせ、南草津の持続可能性を高めることができる。

南草津まちづくり研究会での議論や立命館大学生へのアンケート調査でも明らかになったが、約18,000人も学生の規模をもつ大学が駅の近くにあることは南草津の強みである。

そこで、南草津でも立命館大学がその存在感を高め、UDCKが実践しているように、自治体（県・市）と市民（企業等も含む）と大学の交流が一つの拠点で絶え間なく続き、常に何か創造されていく状況をつくることができれば理想である（イメージについてはP26-28参照）。

UDCKが交流拠点として機能しているのは、組織と人と空間がそれぞれ包容力を持ち、全体として機能していることにある。そして、その包容力のベースとなっているのが、ゆるやかで自由な「組織」であり、広い視野と行動力を持つ「人」であり、利便性が高く開かれた「場所」である。

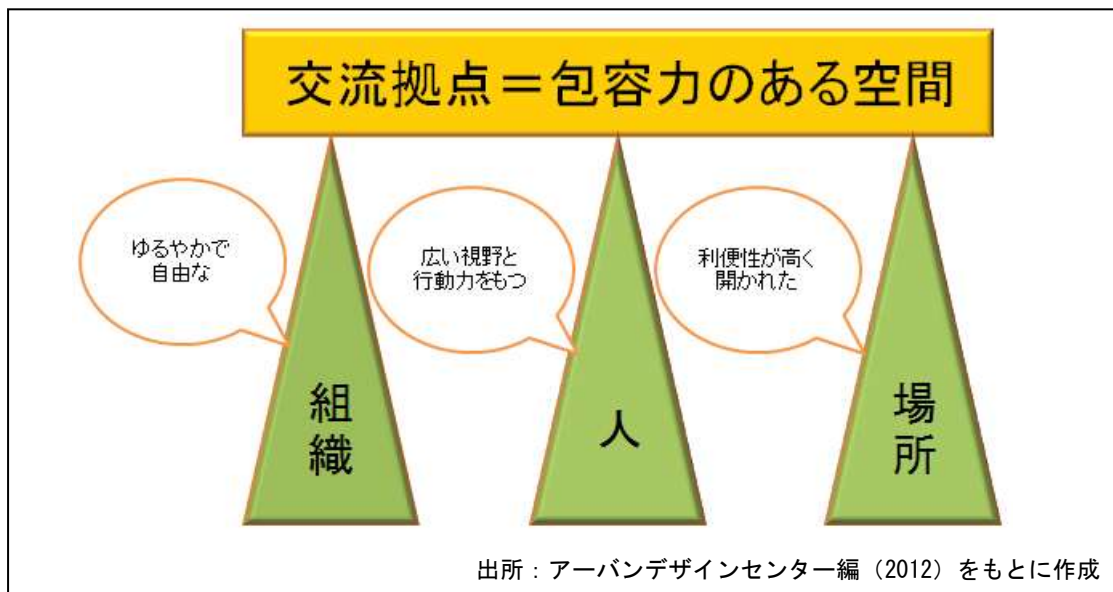


図4-1 交流拠点のベースとなるもの

南草津でこのような「包容力のある空間」をつくるためには、とくに拠点の見える化が重要になる。現在の南草津ですぐにそのような場所を設けることは困難であるが、まちづくりへの多様な主体の積極的な関与を生み出すために、まずは駅前の一等地に拠点となる場所を設けることから始める必要がある。

そして、拠点には様々な立場の専門家が必要である。そこには大学の貢献があることが前提で、市民の活動支援、企業の資金協力、自治体職員の職能開発等も必要となってくる。

なお、2014年は立命館大学びわこ・くさつキャンパスが開学20周年を迎える節目の年であり、同時に南草津駅は開業20周年、草津市は市政60周年を迎えることとなる。このように節目の年が重なることは、南草津にとって、多様な主体がまちづくりにかかわる絶好の機会でもある。今後も、10年ごとにこれらの節目の周年記念が重なることから、その都度、関係者が多くの人を巻き込んで南草津のまちづくりの方向性を内省し、新しいまちづくりの方向性を共有していくことも重要である。

2 住みやすさの維持

これまで見てきた調査結果によれば、南草津はおおむね住みやすい場所として認識されているようであるが、それは日用品の買い物のしやすさや南草津駅の電車の利便性によるところが大きいようである（P20-25）。

今回の調査では、子どもに対する教育水準の高さや文化芸術の水準の高さというソフト面で住みやすいとの回答は得られなかった。しかし、前章で見たユーカリが丘の事例のように住民のライフスタイルに応じた生活環境を満たし、末長くまちに住み続けてもらうためには、教育や文化芸術等のソフト面の充実も欠かせない。

また、ユーカリが丘の「住み替え制度」のように、購入者の自己負担額を少なく抑えながら、高齢者と若者の住み替えを仲介して促進していくことも考え得る。末長くまちに住み続けてもらうよう、住み替えに積極的に取り組む民間業者がいればいいが、そうでない場合は、まちづくり会社等の公的な仲介が必要となる場合もある（イメージについてはP29-31参照）。

そのほか、南草津駅前の整然とした街並みは人工的であるために人の息づかいが感じられにくく、緑を増やしていくということも考えられる。人工的なまちに息づかいを感じさせるための動きとしては、近年、緑被率だけでなく、実際に視界に入

る緑の量である緑視率⁴⁶を増やして住環境の改善を図る自治体も出てきている。駅前に大型マンションが立ち並ぶ南草津でも、緑視率の向上を図っていくことについては一考に値する。

また、緑を増やす際には、そこをきっかけとしてどのようにコミュニティを形成していくのかという長期的な視野も必要である。2010年の野路西部土地区画整理事業時に、住民が南草津駅の西口一带に数多くフラワーポットを設置しているが、日々の管理等は地域住民の取り組みだけでは限界があるのが現状である。そのため、新たにまちの緑化をテーマにコミュニティを形成していく場合には、その過程において、今まで意識的に連携をしてこなかった学生や大学も積極的に巻き込みながら取り組んでいくことも重要である。

まちの緑化は一例に過ぎないが、公園の遊具を設置する際の空間デザイン等をコミュニティの形成も含めて考えていくためには、住民や大学関係者等が具体的な場面で参加できる機会を演出することが必要であり、それをコーディネートする人の存在が必要である。コーディネート役は自治体職員もあり得るが、長期的な視点や当事者性からみれば、民間側から声があがることが望ましい。

そのような意味では、南草津駅周辺で2013年度から予定されている野路公園整備⁴⁷は、今後の南草津の発展の試金石となる。計画の段階で大学や市民がどれだけ主体的、具体的に関わられるかということが問われてくる。また、文化芸術面でも、滋賀県立しが県民芸術創造館の今後の利用方法について同様のことがいえる。



出所：草津未来研究所撮影 2012. 7. 25

図 4-2 南草津駅西口のフラワーポット

⁴⁶ 路上で人の視界に入る緑の割合のことをいい、大阪府や兵庫県西宮市等が政策に取り入れている。

参考ホームページ 大阪府「まちの緑視率の公表（試行）」

<http://www.pref.osaka.jp/kannosomu/ryokushiritsu/index.html>（2013年1月11日閲覧）

⁴⁷ 草津市野路8丁目地先の仮又池周辺や野路小野山製鉄遺跡の2.7haを対象にした公園整備事業のこと。

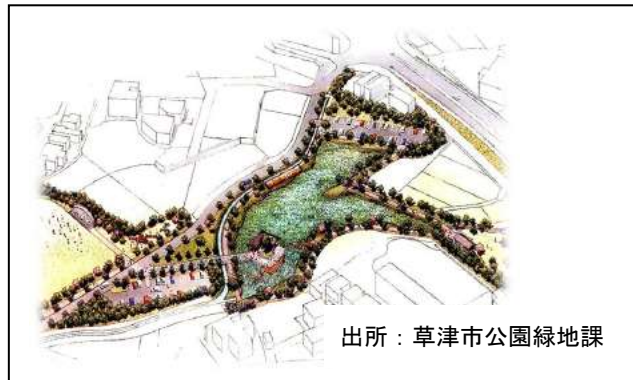


図 4-3 野路公園イメージ図

その他、住みやすさを維持するための機能については、次のものが考えられる。

- ①魅力的な商品をそろえ、楽しくショッピングできる商店街のある街
- ②もてなしの心で満ち溢れた人とまちの存在
- ③思い出に残る地域性豊かな芸術・エンターテインメントのある街
- ④基礎教育に優れたまちづくり

3 交通インフラの整備

第2章で見たように、市内には南草津の交通インフラの整備に対する市民の声も多くあり、その対応が望まれている（P22-23）。

また、平成22年度道路交通センサスでも、図4-4のとおり、南草津で渋滞が慢性化していることがわかる。1.0以上の数値が混雑していることを表す混雑度では、南草津の国道1号で1.50と1.51を示しており、主要地方道平野草津線では慢性的な混雑状態を表す2.90を示している。主要地方道平野草津線は、南草津駅と立命館大学びわこ・くさつキャンパスをつなぐ主要道路でもあり、将来的に南草津駅前に交流拠点をもつことも考えれば、南田山交差点の渋滞解消を中心とする南草津の交通インフラの整備は早急に必要である。

交通渋滞の解消は直近の課題ではあるが、ここでもまた、長期的な展望をもちつつ、先に見たまちの緑化や公園整備と同様の趣旨で、実際の利用者である市民を交えた研究会を開催する等の方法で広く意見を募っていく必要がある。



図 4-4 草津市の道路の渋滞状況

おわりに

これまで、南草津まちづくり研究会での議論を中心に、今後の南草津のまちづくりに関し、どのような方向性が必要であるのかということを検討してきた。

まちづくりには実際それを担う人々の企画段階からの参画が欠かせないが、先の研究会の構成員でもあった草津市役所、草津商工会議所、立命館大学は、なかでも自ら当事者意識を持って第一義的に南草津の今後を検討し、市民活動の受け皿をつくっていくことが必要である。

そして、この調査研究報告は、先の三者の今後の議論の題材とすることも目的であったが、先の三者を越え、今後、南草津で多様な主体が集い議論する際の種として扱っていただくことができれば幸いである。南草津は大企業の工場にも近く、大学もあることから、数年単位でしか居住しない住民も数多くいる。そのため、長期的な視点で見れば、立命館大学びわこ・くさつキャンパスを有する等の南草津の強みを最大限生かしながら、そのような人たちがゆるやかにまちづくりにかかわれるような仕組みづくりも必要である。そして、その仕組みのなかで、気軽に自由に議論や話ができる空間が演出され、常に新しい出会いが創造されることで、一人でも多くの人が南草津に関心をもっていただければと願う次第である。

◎関係者一覧

○アドバイザー

高崎経済大学 地域政策学部 教授 戸所 隆（草津未来研究所 顧問）

○草津未来研究所

副 所 長 草津市 総合政策部 理事 林田 久充

主任研究員 草津市 総合政策部 副部長 林沼 敏弘

研 究 員 草津市 総合政策部 草津未来研究所 主査 坂居 雅史（担当者）

研 究 員 草津市 総合政策部 草津未来研究所 主任 西村 周馬

参考文献

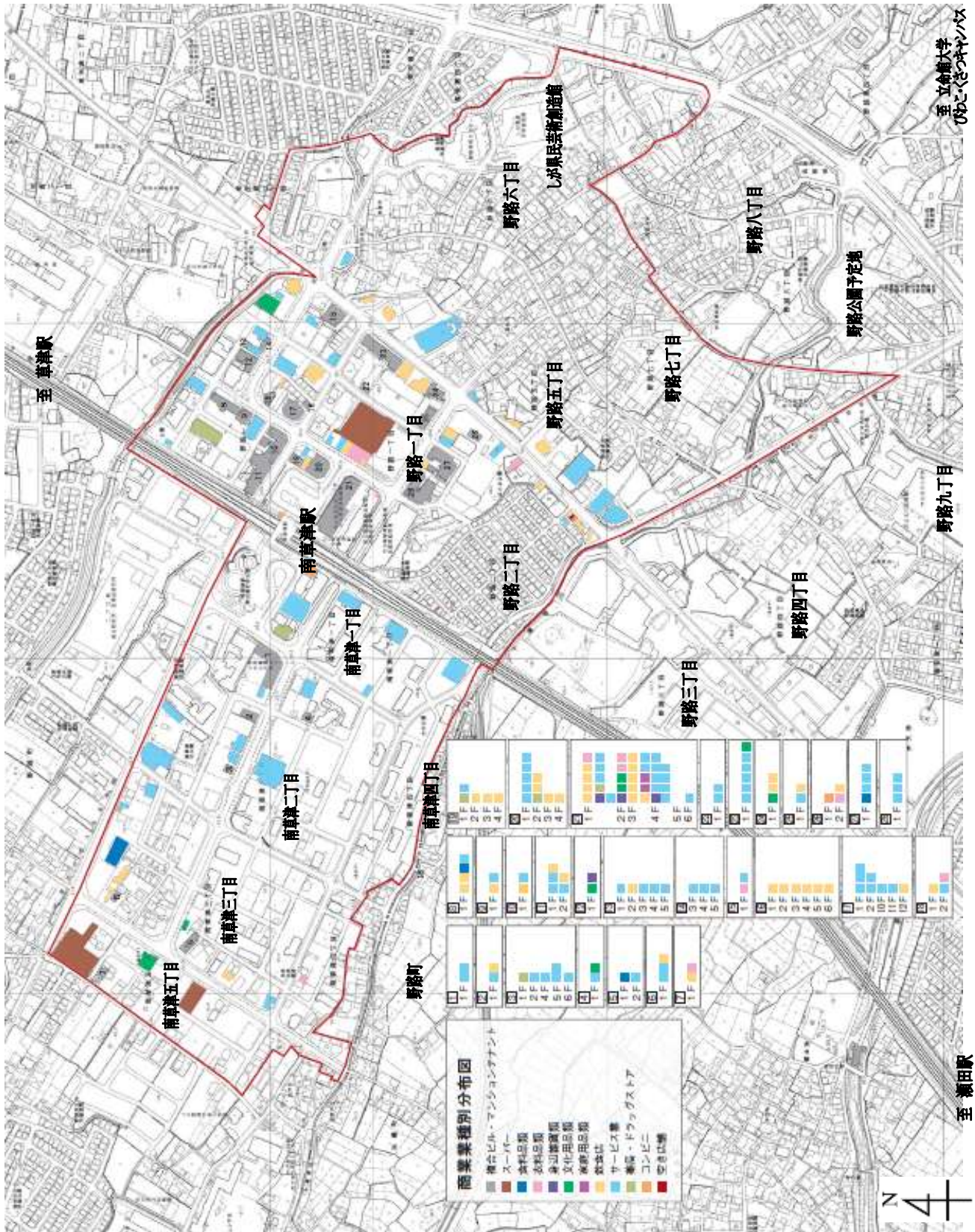
- アーバンデザインセンター研究会編(2012)『アーバンデザインセンター 開かれたまちづくりの場』理工図書
- 鮎川ゆりか(2012)『e-コンパクトシティが地球を救う 2050年に向けた社会デザイン』日本評論社
- 内橋克人(2011)『大震災のなかで 私たちは何をすべきか』岩波新書
- 岡田俊二(2003)『野路の歴史 遺跡発掘で野路古代から中世が見えてくる』
(<http://www.noji-city.com/history/literature.html>) (2012.12.25 閲覧)
- 海道清信(2001)『持続可能な社会の都市像を求めて コンパクトシティ』学芸出版社
柏の葉アーバンデザインセンターホームページ「UDCKについて」
(<http://www.udck.jp/about/000245.html>) (2013年1月28日閲覧)
- 金子勝・神野直彦(2012)『失われた30年 逆転への最後の提言』NHK出版新書
- 株式会社ゼンリン(2012)『ゼンリン住宅地図 滋賀県草津市』2012-11
- 株式会社日本政策投資銀行中国支店(2012)『人口減少・高齢化社会を踏まえた集約型都市構造への転換に関する調査』
- 株式会社三菱総合研究所(2012)『新しいローカリズム』丸善プラネット株式会社
- 草津市(2006)『草津市都市計画マスタープラン』
- 草津市(2010)『第5次草津市総合計画 2010-2020 基本構想』
- 草津市(2010)『第5次草津市総合計画 2010-2020 第1期基本計画』
- 財団法人東北産業活性化センター(2008)『明日のニュータウン 様々な課題の解決と将来の展望』日本地域社会研究所コミュニティボックス
- 坂居雅史(2010)「女性差別撤廃をめぐるグローバルスタンダードと国内政策との乖離：自治体は当事者ニーズにどう応えるのか」『龍谷大学大学院法学研究』12、pp. 135-164、龍谷大学
- 島本慈子(2012)『大震災で住宅ローンはどうなるのか』筑摩書房
- 谷口正和(2012)『渋谷の構想力 コンパクトシティの育て方』ライフデザインブックス
- 月尾嘉男(2011)『100年先を読む 永続への転換戦略』公益財団法人モラロジー研究所

- 都市整備研究会(2009)『新しいまちづくりの戦略的展開 集約型都市構造の実現に向けて』
- 戸所隆(2000a)『連携型大都市・大都市圏の構築による新しい国土空間構造の研究』科
研報告書
- 戸所隆(2000b)『地域政策学入門』古今書院
- 戸所隆(2004)『地域主権への市町村合併—大都市化・分都市化時代の国土戦略—』古
今書院
- 戸所隆(2010)『観光集落の再生と創生 温泉・文化景観再考』海青社
- 戸所隆(2011a)「開発哲学と国土構造の再構築による大震災リスクへの対応」『世界経
済評論』55、pp. 25-29、世界経済研究協会
- 戸所隆(2011b)「大都市化・分都市化型地域形成による地域アイデンティティの再構築
と地域主権の確立」『学術の動向』16(3)、pp. 75-78、財団法人日本学術協力財
団
- 戸所隆(2012)「大災害と新しい経済環境に対応可能な国土構造の在り方(特集 地理学
から提言する新しい国土)」『地理』57(9)、pp. 40-49、古今書院
- 日本経済新聞社・産業地域研究所(2012)『2011年(第3回)全国都市のサステナブル度
評価』日本経済新聞出版社
- 福原正弘(1998)『ニュータウンは今 40年目の夢と現実』東京新聞出版局
- 不動産情報サイト事業者連絡協議会(2012)「一般消費者対象『不動産広告に関するア
ンケート』調査結果」〈<http://www.rsc-web.jp/>〉(2013.1.10閲覧)
- 目片匡(2012)「列島 ホットなまち 一般財団法人日本不動産研究所(2) 滋賀県草津
市・南草津周辺～活気ある『見栄えの良い街』～」『住宅新報』2012年6月5日
号、pp. 22-24、住宅新報社
- 山下博樹(2000)京阪神大都市圏における近郊都市・草津市南部の市街地形成の特性
—南草津駅開設と立命館大学移転のインパクト』『京都地域研究』14、pp. 23-35、
京都地域研究会
- 立命館百年史編纂委員会編(2013)『立命館百年史 通史三』学校法人立命館

参考資料

参考資料 1	南草津の商業・サービス施設の分布.....	48
参考資料 2	南草津の SWOT 分析.....	49
参考資料 3	不動産業者ヒアリング結果.....	52
参考資料 4	野路西部土地区画整理事業記念碑.....	53
参考資料 5	子育てサークルヒアリング調査結果.....	54
参考資料 6	立命館大学びわこ・くさつキャンパス学生意識調査.....	55
参考資料 7	平成 23 年度の南草津まちづくり研究会と基礎調査報告書.....	57
参考資料 8	平成 24 年度の南草津まちづくり研究会とワーキンググループ.....	61
参考資料 9	南草津のまちづくりの企画案（南草津まちづくり研究会）.....	63

参考資料1 南草津の商業・サービス施設の分布 (2012年2月9日時点)



参考資料 2

南草津の SWOT 分析

1. 内部の強み

- (1) 20 歳代、30 歳代の来住や住宅購買力のある働き盛りの人の多さ
→南草津に住む 20 歳代と 30 歳代の人口割合は 36.3%である。
- (2) ドラッグストア、コンビニ等、生活の利便性がある店・施設の増加
- (3) 駅を中心とした都市インフラ整備、公共交通の発達
→南草津駅を中心とすると東西南北の端までは概ね 15 分圏内である。
- (4) 立命館大学の人的、知的、組織的な資源活用の可能性の高さ
- (5) 昼間人口が多い
→草津市では、2000 年以降、夜間人口より昼間人口が多く、2010 年には夜間人口 130,874 人に対し、昼間人口は 142,677 人である。
- (6) 子どもの数が多い
→南草津に住む 15 歳未満の人口は 1,883 人 (17.7%) である。
- (7) 駅の乗降者数が多い
- (8) 京阪神に近い
→JR 新快速で京都駅まで 17 分、大阪駅まで 47 分の立地である。
- (9) 工場が多い
→パナソニックアプライアンス社、ダイキン、オムロン、パイン等の工場が立地している。

2. 内部の弱み

- (1) 生活の場、居場所、憩いの場として魅力の未成熟 (遊び場等)
- (2) 居住者層とまちのつながり・コミュニティの不足 (町内会、檀家等)
- (3) 駅前としての公共の場の不足、街路樹の少なさ
- (4) 「交流人口」を呼び込む魅力の不足
→市外からの訪問者を増やすための資源が乏しい。
- (5) 文化的、学問的、知的な要素の不足 (専門書店等)
- (6) 飲食店、ヘアーサロン等、商業機能の偏り、連携の弱さ、一体性の不足
→居酒屋 18 店舗、ヘアーサロン 19 店舗、学習塾 10 箇所等と数多くある業種がある一方で、おもちゃ屋 1 店舗、古美術 1 店舗等、数が少ない業種もある。
- (7) ワンルームマンションの空室化
- (8) 人の集まるイベントが少ない
- (9) 回遊性がない
→南草津駅周辺で回遊したくなるような場所がない。

3. 外部の機会

- (1) 新快速停車による通勤・通学圏の一層の広がり
- (2) 広域道路アクセス及び広幅道路整備によるアクセスの容易性
- (3) 駅周辺の開発の活発化と人口増
- (4) びわこ文化公園都市ビジョンの具体化
→2012 年 8 月、びわこ文化公園都市将来ビジョン検討委員会が滋賀県知事に答申した。
- (5) 文化拠点としての可能性 (滋賀県立しが県民芸術創造館等)
→滋賀県立しが県民芸術創造館は、1988 年から約半世紀に渡って南草津に立地

していたが、現在その存続をめぐって検討されており、2014年3月末で現在の指定管理の契約が切れることとなっている。

(6) 防災・減災を意識したまちづくりの潮流

→2011年3月11日の東日本大震災以降、まちづくりに対して防災・減災が強く意識されるようになった。

4. 外部の脅威

(1) 本格的な高齢社会への準備の遅れ

(2) グローバル化による草津市製造業の拠点性の不確実さ

(3) 郊外型の大規模小売店の立地

→フォレオ大津一里山、イオンモール草津等

(4) サステナブル度（とくに社会安定度）評価の低さ

(5) 18歳人口減少による立命館BKCの将来性の不明確さ

(6) 類似した性格を持つ湖南地域の都市の発展

(7) 市内の新駅設置の可能性

→南草津駅とJR瀬田駅の間に新駅設置の可能性がある。

(8) JR草津駅周辺を中心市街地活性化計画の検討

(9) リニア新幹線の開通

→2011年3月11日の東日本大震災以降、まちづくりに対して防災・減災が強く意識されるようになった。

南草津の SWOT 分析

	<p>内部の強み (S)</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 20 歳代、30 歳代の来住や住宅購買力のある働き盛りの人の多さ (2) ドラッグストア、コンビニ等、生活の利便性がある店・施設の増加 (3) 駅を中心とした都市インフラ整備、公共交通の発達 (4) 立命館大学の人的、知的、組織的な資源活用の可能性の高さ (5) 昼間人口が多い (6) 子どもの数が多い (7) 駅の乗降者数が多い (8) 京阪神に近い (9) 工場が多い 	<p>内部の弱み (W)</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 生活の場、居場所、憩いの場として魅力の未成熟（遊び場等） (2) 居住者層とまちのつながり・コミュニティの不足（町内会、檀家等） (3) 駅前としての公共の場の不足、街路樹の少なさ (4) 「交流人口」を呼び込む魅力の不足 (5) 文化的、学問的、知的な要素の不足（専門書店等） (6) 飲食店、ヘアサロン等、商業機能の偏り、連携の弱さ、一体性の不足 (7) ワンルームマンションの空室化 (8) 人の集まるイベントが少ない (9) 回遊性がない
<p>外部の機会 (O)</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 新快速停車による通勤・通学圏の一層の広がり (2) 広域道路アクセス及び広幅道路整備によるアクセスの容易性 (3) 駅周辺の開発の活発化と人口増 (4) びわこ文化公園都市ビジョンの具体化 (5) 文化拠点としての可能性（滋賀県立しが芸術創造館等） (6) 防災・減災を意識したまちづくりの潮流 	<p>SO 積極的攻勢</p>	<p>WO 差別化戦略</p>
<p>外部の脅威 (T)</p> <ul style="list-style-type: none"> (1) 本格的な高齢社会への準備の遅れ (2) グローバル化による草津市製造業の拠点性の不確実さ (3) 郊外型の大規模小売店の立地 (4) サステナブル度（とくに社会安定度）評価の低さ (5) 18 歳人口減少による立命館 BKC の将来性の不明確さ (6) 類似した性格を持つ湖南地域の都市の発展 (7) 市内の新駅設置の可能性 (8) JR 草津駅周辺の中心市街地活性化計画の検討 (9) リニア新幹線の開通 	<p>ST 段階的施策</p>	<p>WT 専守防衛または撤退</p>

この部分については、南草津まちづくり研究会で議論し、企画案（別紙）としてまとめた。

参考資料 3

調査期間: 2012年11月2日から12月7日
 調査対象: 南草津駅周辺の不動産業者
 調査方法: 南草津での居住を検討している顧客についてのヒアリング調査。
 南草津の業者を訪問し、下記の項目を中心に販売担当者から聞き取りを行った。

	1	2	3	4	5
業者名	業者A	業者B	業者C	業者D	業者E
販売分類	分譲マンション	分譲マンション	戸建・分譲マンション	戸建	戸建
客層	30代後半～50代の子育て世代およびDINKS	30代後半～50代の子育て世代およびDINKS	30代～50代	20代～40代	30代～50代
顧客ニーズ	駅に近い買い物がしやすい	駅に近い買い物がしやすい	駅に近い	駅に近い	駅に近い
顧客がもつ南草津地域のイメージ	発展しているまち	発展しているまち	発展しているまち	発展しているまち	発展しているまち
不動産販売時の説明	駅に近い、買い物がしやすい	駅に近い、発展し続けている新しいまち	駅に近い、発展し続けている新しいまち	駅に近い、発展し続けている新しいまち	駅に近い、発展し続けている新しいまち
顧客が考える他の候補地	栗東(子育て環境が充実)、草津	大津、石山(ともに新快速停車駅)	草津、瀬田、石山	草津	草津
顧客からの不満点	駅周辺に保育所が少ない等、子育て環境が不十分	保育所、公園、ショッピングセンターの不足	土地が高い(1区画が180㎡以上という条件があるため、土地だけで3,000万円する)	郵便局がない(矢倉郵便局まで行かないといけない)	土地が高い
その他	周辺で悩む顧客の場合、栗東は子育て、草津と南草津はショッピングが最後の決め手	・H24年8月末から販売したマンションは91戸(約8割)販売済	・駅周辺に戸建を14,5件販売済 ・マンションの場合、勤労者は南草津を選ぶ傾向あり		
	6	7	8	9	10
業者名	業者F	業者G	業者H	業者I	業者J
販売分類	戸建	賃貸アパート	賃貸アパート	賃貸マンション	賃貸マンション
客層	20代～40代	30代前半が主	20代が主、8割が単身で2割が家族、単身のうち学生と新社会人が半々	30代～50代、県内への転勤者、新婚	介護を必要とする単身高齢者
顧客ニーズ	駅に近い	駅に近い	駅に近い綺麗な賃貸マンション	駅に近い	南草津に特化しているわけではないので傾向はわからない
顧客がもつ南草津地域のイメージ	発展しているまち	新しいまち、閑静なまち	新しいまち	発展しているまち	新しいまち
不動産販売時の説明	駅に近い、発展し続けている新しいまち	駅に近い、新しく綺麗な物件	駅に近い、新しく綺麗な物件	駅に近い	京阪神からのアクセスのよさ
顧客が考える他の候補地	瀬田、石山	草津	近隣に競合なし、あえて言うなら草津	競合なし	滋賀県内一帯
顧客からの不満点	特になし(さらなる発展を望む)	特になし(顧客との直接的な対話は賃貸販売の専門業者に任せているので詳細はわからない)	郵便局がない、大型家電量販店がない(新生活をするにあたり大量購入するため)	特になし	南草津に特化しているわけではないのでわからない
その他	・駅前の物件はなし ・駅から徒歩17分の距離に10区画販売中	南草津駅周辺の賃貸アパートは新築すれば2週間で完売する状態	学生は駅の東側の物件を求めているが、学生の親は駅の西側を勧める傾向あり	新快速停車後、京都や大阪方面からの顧客が増加	現在のところ販売実績なし

野路西部土地区画整理事業 記念碑 [WATER MOON] (原文ママ)

南草津駅周辺の都市基盤整備は、地域住民で構成された「草津市南部副都心野路町促進期成同盟会（昭和 60 年七月設立）」による整備手法等の調査検討を受けて、野路西部地区約 30.5 ヘクタールについて、副都心にふさわしい都市機能の誘導を図るため、野路東部、西部それぞれにおいて組合施行による土地区画整理事業を実施しています。

とくに、野路西部土地区画整理事業については平成十二年六月に「ふるさとの顔づくりモデル土地区画整理事業」の指定を受けており、「萩萌ゆる野路の玉川」～にぎわいと風格のある、あたらしい文化の生まれる街～をテーマに掲げ、水と緑にうろおう、個性的で魅力ある室の高い都市空間としています。

「野路の玉川」は古くから六玉川として有名であり、この記念碑には、仲光が新拾遺集に詠んだ和歌とこれを題材にした絵図を刻んでいます。

さを鹿の しがらむ萩の 秋見へて
月も色ある 野路の玉川

仲光

また、当事業の実施にあたり、事業区域の約 3 分の 1 に相当する約 9.6 ヘクタールについて、野路岡田遺跡の埋蔵文化財発掘調査が行われ、古墳時代から鎌倉時代まで約 800 年続いた集落であることがわかりました。さらに南北方向に幅 20 メートルの道状遺構が見つかり、律令制における畿内七道のひとつで、古代の幹線道路「東山道」である可能性が出てきました。隣接する公園にこの「東山道」の名称が使われています。

記念碑はこうした歴史と文化を背景にして表面を波型のレリーフで水面に映える清らかな付を表現しつつ、本事業の完了を受けて、街づくりの新たな出発と、街が発展・成長していく様子を、満月へと満ちていく美しい月の姿に託してデザインしています。そしてこの街に暮らす人々、訪れる人々、多くの人々の出会いが賑わいと活発な交流を生み新しい街が成長しつづけていくことを期待するとともに、今後ともみんなで街づくりのルールを守り、また、みんなの力を結集して土地区画整理事業によって創出されたこの魅力ある街並みや良好な住環境を保持し、安全で快適な生活空間として将来に引き継がれていくことで、輝ける未来へ到達できるよう、願いをこめています。

平成二十二年十一月

参考資料 5

子育てサークルヒアリング調査結果

日時：2012年11月12日（月） 場所：玉川市民センター 2階 大会議室

対象：玉川学区 子育て応援団ネットワーク 玉っこひろば

代表者：堀江尚子氏 参加者：42組

【共通】

南草津の現状：

- ・元気ッズで活動していた8年前とほとんど状況が変わっていない
- ・小さな子どもを抱える母親は日中に出かける場所を求めている
- ・近くに知り合いがいなく、孤独を感じている母親が多い

南草津の課題：

- ・南草津駅周辺の公園に遊具がなく、子どもを遊ばせることができない
- ・駅周辺に保育所が少なく待機児童が多い
- ・雨の日に遊ばせる場所がない
- ・子育てサロンを除くと、子どもを連れて行く場所が西友か図書館ぐらいしかない
- ・子育てサロンが学区民や市民で限定されている場所が多く、生活圏に合っていない

【活動内容】

いつから：2011年5月頃から

どのような人が来所：

- ・玉川学区を中心に老上学区や矢倉学区に住む母親と子どもが多い
- ・「ぼかぼかタウン」やブログを見て初参加する人も多い
- ・父親や祖父母と参加する子どももいる
- ・京都から来る祖父や瀬田から来る親子もいる

課題：

- ・補助金が終了した後の資金繰りが厳しい
- ・現在の玉川市民センターの所長のコーディネート力に頼るところが大きい

展望：

- ・市内の全市民センターで同じような取組みが広がっていくことを希望している
- ・市の子育てサロン補助金25,000円、京都新聞からの補助金20,000円、萩まつりでの収益、参加費@500円/1人を活動資金として活動を継続していく

立命館大学びわこ・くさつキャンパス 学生意識調査

調査実施日：2012年6月13日

対象者：立命館大学「地域参加学習入門（近江・草津論）」受講学生

有効回答数：56通

質問：南草津が私の「第二のふるさと」といえるようになるためには、どのような体験機会が必要か？

人

草津市民(幅広い世代)とつながり、続けていける関係を築く
学生が世話になる
草津で、親しい友人、知人をつくる
草津市民と感情を共有しあう
草津出身、在住のお年寄りや成人と会話→見聞を広げる
何回も訪れたいくなるような人
第二の家族の存在
母親に近いくらいに頼れる存在の人との出会い
近所づきあいを大切にする
学生を求めている方と触れ合う
帰りを待っていてくれる人の存在
小学校、幼稚園で子供たちと交流

場所

学生が草津市を深く知る
心休まる場所、居場所をつくる
お気に入り、行きつけの店がある(飲食店)
楽しい、大切と思える場所がある
大学の敷地内で行うことで広く学生に伝わる
南草津で多くの時間を過ごす(下宿の体験)
何回も訪れたいくなるような場所・景色
通いなれた場所
まち歩き
現在、過去南草津に住んでいた人が一同に集まる場所
相談できる場所
休憩場所
目立つ場所から訪れてみる
用途を制限しない場所

文化

互いの環境を知る機会(学園祭に地域の人を呼び込む)
学生と地域の人とで、関われるようなイベントの企画、参加
(お祭り、銭湯行く、食事会、買い物、農作業や川掃除など地域に貢献する活動)
まちづくりやその他ボランティア活動

(地域の人と、家族と)一生の思い出をつくる
毎日、感じ、触れ、体験できる出来事
地域の人に認められるような体験
一緒に物やイベントを作り上げる機会
思い入れや感動を得ること
自分が市民の1人であると感じる体験
草津を学ぶ機会(歴史、食べ物)
草津にしかできないイベント
街あかりの活動
スポーツを通じて(テニスのスクール教室)
健康セミナーの開催
学生が専攻している分野の専門知識を提供する
草津の家庭生活を体験
活動後、個々で繋がりを持っていられるような体験

その他

草津の素敵な所を知る機会が必要
人と場所と一緒に結び付け行くこと
新たな発見を見つけることが大事
特別なことはしなくても、学生生活をしっかり過ごすこと
草津を好きになること
学生の積極性が必要

文化+人 37枚

場所+人 18枚

南草津のまちづくりに関する基礎調査報告書【概要】

平成23年度南草津まちづくり研究会

目的

南草津地域は、大学、新駅、土地区画整理といった動きが引き金となり大きく変化をしてきたが、第5次総合計画等で、抽象的な表現でのまちづくりのイメージが示されているものの、折角のポテンシャルが必ずしも一つのあるべき方向に向かってまちづくりが進められるにはなっていない。そこで草津市、地域住民、産業界、大学が共有できるビジョンについての基本的な考え方について調査研究を行うことを目的に「南草津まちづくり研究会」を設置し、立命館大学、草津商工会議所とともに共同研究を行った。

1. 南草津まちづくり研究会の概要

平成24年1月から3月にかけて3回開催

南草津まちづくり研究会構成員

立命館大学・・・高田昇（政策科学部教授）、肥塚浩（経営学部教授）、本村廣司
（BKCキャンパス事務局長）、古橋由一郎（社会連携課課長補佐）

草津商工会議所・・・矢野邦明（事務局長）

草津市・・・・・・林田久充（草津未来研究所）、田邊好彦（総合政策部）、
浜田恭輝（産業振興部）、北中建道（都市建設部）

（事務局：草津未来研究所（山口洋典准教授 立命館大学サービスラーニングセンター副所長）ほか）

2. 南草津まちづくり研究会の主な検討内容とまとめ

①検討対象とするエリアについて

重点的に捉え、JR南草津駅周辺（国道1号から駅西土地区画整理事業に至る範囲）

②南草津をとりまく背景について

社会・経済的背景と草津市が取り組んでいる各種計画について整理

③地域の現状評価

南草津の現状について、プラス面とマイナス面の整理

【南草津の優位性(強み)】

1	駅を中心とする都市インフラの整備が進んでおり、鉄道・バスの公共交通利用、クルマ利用の両面で利便性がきわめて高い。
2	国道1号、大津湖南幹線といった広域とつながる道路が近く、かつそれらと結ばれる広幅員道路整備により、エリアへの多方面からのアクセスが容易となっている。
3	新快速停車駅となることで、通勤・通学圏が県下、県域を超えて広がり、今後もさらなる可能性をもつ。
4	各地で鉄道利用が低迷する中で、南草津は駅利用者の増加傾向が続いており、駅周辺のもつ価値の向上が望める。
5	エリア内およびエリア周辺に若い世代の来住が進み、住宅購買力をもつ働きざかりの人が多くことから、経済波及効果の余地が残されている。
6	みなくさまつりに集まった人とそのパワーを生かせる可能性がある。
7	立命館大学が持っている人的、知的、組織的な「資源」の活用がまだ「発展途上」にあり、今後の可能性が大きい。

【南草津の課題(弱み)】

1	交通の利便性が一方では流動化や人、モノの流出にもつながるおそれがある。
2	生活の場、居場所、憩いの場としての魅力の未成熟さもあり、定住を期待したい居住者層が街とのつながりが弱い。
3	利用できる店、施設は点在しているが、それらをつなぐ魅力、街の一体感に欠けるため、利便性にもかかわらず、「交流人口」を呼び込むには到っていない。
4	大学がありながら文化的、学問的、知的な要素（例・大型書店）が不足していることもあり、「大学の街」「学生街」としての場になりえていない。
5	公共・公益施設（図書館、スポーツジム、県民創造館など）が一定充足されているものの、その利用が市民、学生のいずれにも促されていない。
6	商業・サービス機能に偏りがあり、相互の連携が未形成であることも要因となって、商業活動が定着しにくく、出店、退店がくりかえされる傾向もみられる。
7	中心性を有するべき街、駅前としての「公共の場」が不足していると共に、街路樹など緑が少なく、シンボル性のある建物、場所がみつけにくい。

④南草津のまちづくりの方向性に関する視点

類似事例と地区状況から今後求められる主な要素を抽出

(1) 類似事例にみる方向性

- ・居住者、街の利用者の世代に偏りがなく、多世代が定住し、利用しやすい生活環境
- ・住宅と商業・サービスだけではなく、遊び、学び、健康・医療、交流など複合的な都市機能の集積
- ・街としての一体性、快適性や歩き、ただよい、居場所を感じさせる雰囲気
- ・大学や学生と共にある街としての文化性、創造性や知的要素
- ・地域を計画的、持続的に変化、発展させるコミュニティやマネジメント機能

(2) 地区現況からみる方向性

- ・ユーザーニーズへのマッチング
- ・都市機能、施設構成の再構築
- ・交通・動線の活用と補強
- ・景観・アメニティの質向上
- ・コミュニティ・地域連携の形成

⑤今後の主な検討課題

	項目	内容
1	ニーズの把握	地域住民、駅利用者、学生、公共・公益施設利用者等の地域の現状に対する評価、求められる地区機能、街のイメージ等について、アンケート、ヒヤリング、ワークショップ等により捉える。
2	地域のもつ強みを生かす方法、施策の検討	交通の利便性、都市インフラの整備、駅利用の増加傾向、若い世代の来住、大学立地といった南草津がもつ優位性をどのようにまちづくりに生かし得るか、項目ごとに詳細な検討を加える。
3	地域のもつ弱みを克服する方法、施策の検討	居住者、利用者にとって「通過地点化」していることや、交流人口の呼び込みの不十分さ、商業活動の偏りと流動性、文化・創造的要素の不足、景

		観・まちなみの魅力不足、歩く街、ただよう街としての場や雰囲気未形成、といった南草津の課題を打開し、優位性につなげていく方法について検討。
4	南草津のまちづくり構想の立案	まちづくりの方向性については、いくつかの構成が想定されることから、まちづくりの全体像を常に俯瞰しながら、各構成項目をつみ上げて行く作業が望まれる。
5	まちづくりの実現に向けての構想と検討	まちづくりをペーパープランに終わらせずに、長期にわたり、持続的に一つひとつ可能なことから実現させつつ、そのつど構想にも検証を加え、必要な見直しをするリアリティをもたせるために、各種取り組みを構想検討と平行して行うことが求められる。

3. 前提条件の整理

都市計画マスタープラン、都市計画（用途地区、地区計画）、土地区画整理事業、草津市景観計画、草津市総合交通戦略について整理

4. 地域現況に関する基本指標の整理

南草津の現況について基本指標となる項目を整理

（項目：人口動態、交通、土地利用の変遷、土地利用状況）

5. 商業・サービス施設の実態把握

今後の地域機能のあり方を検討する材料として、商業・サービス施設の実態を調査

平成24年度 南草津まちづくり研究会について

(1) 目的

南草津のまちの特性と課題を明らかにし、草津市、地域住民、産業界、大学が共有できるまちづくりの方向性を検討する。また、その方向性を具現化するために今後必要とされる具体的な取り組みについて検討する。

(2) メンバー (役職は平成24年8月現在)

	氏名	所属・役職	備考
1	小沢 道紀	立命館大学 スポーツ健康科学部准教授	
2	肥塚 浩	立命館大学 経営学部教授	
3	建山 和由	学校法人立命館 総長特別補佐	座長
4	本村 廣司	立命館大学 びわこ・くさつキャンパス事務局長	
5	池淵 昌弘	草津商工会議所 会員 (パナソニック(株))	
6	権田 五雄	草津商工会議所 会員 (大五産業(株))	
7	矢野 邦彦	草津商工会議所 事務局長	
8	北中 建道	草津市 都市建設部 副部長	
9	田邊 好彦	草津市 総合政策部 副部長	
10	浜田 恭輝	草津市 産業振興部 副部長	
11	吉本 勝明	草津市 まちづくり協働部 副部長	

(各所属、五十音順)

(3) オブザーバー

	氏名	所属・役職	備考
1	山口 洋典	立命館大学 共通教育推進機構 准教授 (草津未来研究所 総括研究員)	
2	古橋 由一郎	立命館大学 社会連携部 社会連携課 課長	
3	山田 一隆	立命館大学 社会連携部 社会連携課	
4	塩見 康博	立命館大学 理工学部 講師	

(4) 事務局

	氏名	所属・役職	備考
1	石井 洋	立命館大学 総合企画部 総合企画課 課長	
2	林田 久充 林沼 敏弘 坂居 雅史	草津市 総合政策部 草津未来研究所 理事兼副所長 副部長(主任研究員) 主査(研究員)	

(5) 開催日程と内容

- 第1回 平成24年8月21日
1. 座長の選出
 2. 報告
 - ①「南草津のまちづくりに関する基礎調査報告書」の確認
 - ②集約型都市構造の概念
- 第2回 平成24年10月24日
1. 第1回ワーキングの報告
 2. 草津市および立命館大学からの話題提供
 - ①草津市総合政策部:草津市総合計画について
 - ②草津市都市建設部:草津市交通戦略について
 - ③草津市まちづくり協働部:まちづくり協議会について
 - ④立命館大学:BKCキャンパス整備の経過と今後の計画について
 3. 佐倉市ユーカーが丘の事例(DVD視聴)
- 第3回 平成25年1月16日
1. ワーキングでの南草津まちづくり企画案を受けての意見交換
- 第4回 平成25年2月25日
1. 南草津の街づくりに関する調査研究報告書(案)についての意見交換
 2. ワーキングでの南草津まちづくり企画案を受けての意見交換

平成24年度 南草津まちづくりワーキンググループについて

(1) 目的

南草津のまちの特性と課題を明らかにし、草津市、地域住民、産業界、大学が共有できるまちづくりの方向性を検討する。また、その方向性を具現化するために今後必要とされる具体的な取り組みについて検討する。

(2) 役割

南草津のまちづくりに関する具体的な事業アイデアを提案する。

(3) メンバー（役職は平成24年10月現在）

	氏名	所属・役職	備考
1	岡井 有佳	立命館大学理工学部都市システム工学科 准教授	
2	河口 真衣	立命館大学学生部学生オフィス	
3	塩見 康博	立命館大学理工学部環境システム工学科 講師	
4	建山 和由	学校法人立命館 総長特別補佐	監修
5	北田 栄道	草津商工会議所青年部会長（サカエインテリア）	
6	中島 誉子	草津商工会議所青年部理事（中島誉子税理士事務所）	
7	荒川 武仁	草津市総合政策部企画調整課企画調整グループ 副参事	
8	相井 義博	草津市まちづくり協働部まちづくり協働課地域推進グループ 副参事	
9	藤崎 篤	草津市都市建設部交通政策課交通政策グループ 専門員	
10	藤野 剛志	草津市産業振興部商業観光課商業観光グループ 専門員	

（各所属、五十音順）

(4) オブザーバー

	氏名	所属・役職	備考
1	山口 洋典	立命館大学 共通教育推進機構 准教授 (草津未来研究所 総括研究員)	
2	山田 一隆	立命館大学 社会連携部 社会連携課	
3	木村 一隆	立命館大学大学院公務研究科1回生	
4	水野 友理	立命館大学経営学部3回生	

(5) 事務局

	氏名	所属・役職	備考
1	石井 洋	立命館大学 総合企画部 総合企画課 課長	
2	林田 久充 林沼 敏弘 坂居 雅史	草津市 総合政策部 草津未来研究所 理事兼副所長 副部長(主任研究員) 主査(研究員)	

(6) 開催日程と内容

- | | |
|-----------------|--|
| 第1回 平成24年10月15日 | 1. 南草津のまちづくりに関する情報共有と今後の進め方について |
| 第2回 平成24年10月30日 | 1. 第1回ワーキングでの残された課題について
①草津市のサステナブル度評価について
②草津市のNPO団体の活動状況について
③学生の地域での活動状況について
2. 佐倉市ユーカーが丘の事例と解説 |
| 第3回 平成24年12月3日 | 1. 南草津まちづくりの企画案(第1次案)について |
| 第4回 平成25年1月28日 | 1. 「南草津まちづくり企画案」の分析について
2. 南草津まちづくり企画案(第2次案)について |
| 第5回 平成25年3月13日 | 1. 南草津まちづくりに関する調査研究報告書(案)の報告について
2. 「南草津まちづくり企画案」の再分析について |

テキストマイニング手法を用いた 南草津まちづくり研究会 WG 成果の施策展開の方向性

立命館大学 塩見 康博

1. WG での検討の経緯と本稿の目的

2012 年 10 月より「南草津まちづくり研究会」の下部組織として「南草津まちづくり研究会ワーキンググループ（以下、WG）」が発足し、これまでに 3 回の会議が開催されている。

第 1 回 WG（2012 年 10 月 2 日）では、南草津まちづくり研究会によるこれまでの分析結果について説明がなされ、南草津地域の現状や強み・弱みの整理がなされた。第 2 回 WG（2012 年 10 月 30 日）では、まちづくり先進事例として千葉県佐倉市のニュータウン・ユーカーが丘を開発・分譲・運営する山万株式会社の取り組みについて情報共有を行った。第 3 回 WG（2012 年 12 月 3 日）ではオブザーバ・事務局を含む 14 名のメンバーそれぞれが提案した総計 15 件の「南草津まちづくり企画案」について紹介しあい、活発な意見交換がなされた。続く、第 4 階 WG（2013 年 1 月 28 日）では、前回の議論を踏まえて改善・修正した企画案、あるいは新規企画案が発表され、総計 18 件の提案についてメンバー間で議論された。

本稿は、この 18 件の「南草津まちづくり企画案」に対して統計分析を行う事により、WG メンバーの企画案に潜在的に含まれている因子を抽出することで現在の南草津で不足している、あるいは未成熟であると考えられる要素を明確化する。また、抽出された因子に基づいて 18 件の企画案をいくつかのグループに分類し、それぞれに対応した施策の方向性について考察する。

2. 「南草津まちづくり企画案」について

「南草津まちづくり企画案」とは、WG において「発案者自らがリーダーシップをとって進めていける実現可能性のある企画案」という前提に基づいて各 WG メンバーが提案したものである。企画書には 1) 背景, 2) 具体的内容, 3) 地域的優位性, 4) 期待される効果, 5) 想定される課題, 6) 進め方・その他の項目が設けられており、A4 用紙 1~2 枚程度で企画案をまとめる体裁となっている。そのため、本企画案を分析することにより、各メンバーの視点を通して「南草津に不足しているものやこれからの南草津のあるべき姿」を把握することが可能となる。表 1 に全 18 件の企画案のタイトル・発案者属性を整理する。以下に各企画案の概要、および他地域での類似した先行実施事例について紹介する。なお、全企画書本文は別添資料を参照されたい。

2.1 「ミナクサ☆ミチクサ」——老いも若きもスタディツアー「歩いてみなくちゃ」——

この企画案は、地域住民の「先達」が新規の転入者に南草津の歩き方を教えるスタディツアーを実施するものである。これを通して、新規転入者にとって南草津が「ベッドタウン」から「わたし

表 1 南草津まちづくり企画案概要

企画タイトル	略記	発案者性別	発案者所属
「ミナクサ☆ミチクサ」——追いも若きもスタディツアー「歩いてみなくさ」——	スタディツアー(ST)	男性	立命館大学
M3計画(みなくさ・まちなか・まち歩き計画)	まち歩き(WLK)	男性	草津市役所
RHRB (Ritsumeikan Human Resources Bank): 立命館人材バンク	人材バンク(HRB)	男性	立命館大学
まちづくりマップ作成	マップ(MAP)	男性	商工会議所
みなくさ朝市	朝市(ASA)	男性	立命館大学
南草津駅周辺・美観プロジェクト	美観(BIK)	女性	商工会議所
学生も住民！町内会加盟制度	町内会(CHO)	女性	立命館大学
咲くよ・みなくさ・インフィオーラータ	インフィオーラータ(INF)	男性	草津市役所
世界の食文化Village構想	食文化(FDV)	男性	立命館大学
草津市版フットパス“急がば回れ” in みなくさ ～ウォーキンググルメツアー～	フットパス(FTP)	男性	草津市役所
大型店舗集積事業	大型店舗(MAL)	男性	草津市役所
知域交流 ビブリオバトル@みなくさ	ビブリオ(BIB)	女性	立命館大学
地域の特産品—南草津ブランド—をつくる	ブランド(BRA)	女性	立命館大学
南草津・科学館構想	科学館(SC)	男性	立命館大学
課外活動を駅前で	課外(KAG)	男性	立命館大学
南草津コミュニティサイクル	サイクル(CYC)	男性	草津市役所
サイクルロードレースの誘致～サイクリングのまち・草津の実現	レース(RAC)	男性	立命館大学
南草津まちづくりコンペティション	コンペ(COM)	男性	草津市役所

が住んでいる街」へと意識が変化することを期待するものである。なお、当該企画案は住民主体 – 内的充実型にも分類可能である。

このような取り組みの実施事例として、財団法人 世田谷トラストまちづくりの活動（図1参照）が参考となる。財団法人 世田谷トラストまちづくりは、東京都の世田谷において

- ・ 自然環境や歴史的・文化的環境を保全した美しい風景のあるまちの実現
- ・ 安全に安心して生き活きと住み続けられる共生のまちの創出
- ・ 居住環境を魅力的に守り育む活動やコミュニティの形成

を目的とした事業の実施、及び経営基盤の強化への取り組みを進める財団法人であり、その取り組みの一環として、「まちづくりの活動現場見学ツアー」を実施している。ツアー対象地域ごとにテーマを決め、多世代交流の実現に向けた取り組みが進められている。

2.2 M3 計画（みなくさ・まちなか・まち歩き計画）

学生に協力的な個人商店を糸口として、立命館大学と商店、地域住民をつなぐカフェやまちかど講座などの取り組みを継続的に実施することにより、南草津駅周辺を歩いて楽しめるまちにすることを意図した企画案である。立命館大学経営学部の教員とゼミ生が店の経営に参画する他、有志を募り、学生や地域住民を呼び込む企画会議を実施する。

先進事例としては、一橋大学によるNPO法人くにたち富士見台人間環境キーステーションの活動が挙げられる（図2参照）。「学生まちづくり」として、商店主・行政・市民・一橋大生が協働して高齢化の進む団地に近接する商店街でコミュニティ・ビジネスを展開し、成功を収めている事例である。2001年に市の職員が一橋大学の教授や商店会に街おこしに学生の力を借りることを呼びかけ、翌2002年から「まちづくり授業」を通して街の課題に取り組むようになったのが始まりだと



1 梅丘周辺まち歩き編

～小商いとまちづくり

要申込

11
/
17(土)

見学場所：地域の人たちが集うお店
羽根木プレーパーク ほか

※コーヒー付

時間：午前10時～午後1時

定員：抽選15名

参加費：600円（コーヒー代込）

2 玉川田園調布周辺まち歩き編

～まちづくりハウスが繋ぐ市民活動

要申込

11
/
21(水)

見学場所：玉川まちづくりハウス
読書空間みかも ほか

※カフェ（えんがわ inn）でランチ

時間：午前10時30分～午後2時30分

定員：抽選15名

参加費：1,000円（ランチ代込）



3 野沢周辺まち歩き編

～地域住民による多世代交流

要申込

11
/
28(水)

見学場所：のざわテットーひろば
世田谷観音、野沢龍雲寺 ほか

※おいしい手作り昼食付

時間：午前11時～午後2時30分

定員：抽選15名

参加費：600円（昼食代込）



ツアーの詳細・申込方法は、裏面をご覧ください

図1 まちづくりの活動現場見学ツアーのちらし（一部抜粋）³⁾

図2 一橋大生によるコミュニティ・ビジネスの取り組みを紹介する書籍⁴⁾

いう。これまでにカフェや地元野菜の直売所、情報誌の発行などが事業化されている²⁾。

2.3 RHRB (Ritsumeikan Human Resources Bank) : 立命館人材バンク

当該の企画案は、立命館大学 BKC の学生で優れた知識、経験、能力を有する者を人材データベースに登録し、個人経営店舗や大・中小企業、行政などに派遣し業務を行うというものである。学生

65



図3 学生人材バンク HP のトップページ 5)

側には大学の課程で習得した知識や能力を社会に還元する場を得ることができ、また派遣を要請する側としては学生との接点を得ることや人材確保を容易にするというメリットがある。

先進事例としては「NPO 法人学生人材バンク」による取り組みが挙げられる（図3参照）。これは2002年に鳥取大学の学生が発足させた団体で、「学生にキッカケを 地域に笑顔を」をキャッチコピーに、学生にはボランティア、イベント、アルバイトを通じての社会との接点の提供を、そして地域の企業や行政団体には学生によるサポートを提供する人材マッチングサービスを提供しているものである。まちづくりに関わるプロジェクト運営なども手がけている。

2.4 まちづくりマップ作成

当該の企画案は、南草津を中心とした様々なサービスに関する情報を集約し、随時更新可能なマップを作成するというものである。ウェブなどで公開するなどし、地域の情報を得る際の窓口となることが期待される。

先行実施例として「洛西ニュータウン魅力発信装置 まちボタン」⁶⁾などの地域ポータルサイトが挙げられる（図4参照）。これは、洛西ニュータウン創生推進委員会が運営する地域ポータルサイトで委員会の活動情報を提供すると共にタウンマップも整備し、まちの魅力を発信する情報源とし



図4 洛西ニュータウン魅力発信装置「まちポタン」



図5 マーケットの様子（左：オランダ・デルフト，右：高知市の金曜日）

て種々の情報が集約されている。

2.5 みなくさ朝市

当該の企画案は、南草津駅西口の東山道記念公園における朝市の開催を提案するものである。南草津周辺には飲食店、商店、農家、酪農・畜産家も多く、また工場なども多く存在することから、これら生産者と消費者とが一堂に会し、直接コミュニケーションしながら経済活動を行うことにより、住民にとってもより深く地域を知るきっかけとなるほか、コミュニティの醸成効果も期待される。

このようなマーケットは全国津々浦々で多く開催されているが、近年、大型ショッピングセンターの台頭などにより、縮小の傾向にある。しかしながら、ヨーロッパ、特にオランダでは木曜日と土曜日の週に2回、市中心部のマーケット広場で市が開催され、新鮮かつ安価な食材、製品を買い求める客で賑わいを見せている（図5参照）。

2.6 南草津駅周辺・美観プロジェクト

当該の企画案は、南草津周辺を「美しさを感じるまち」として整備することにより、南草津に愛着を持ちながら心身ともに健康な生活ができるまちとすることを目的としたものである。現在の南草津のイメージである「便利・快適」に止まらない、生活を楽しむことのできるまちを目指す企画である。

先述の洛西ニュータウン創生推進委員会では、その下部組織として「住まいと景観チーム」、「子どもチーム」、「環境チーム」、「交通チーム」などの部会を組織し、それぞれ活動方針を策定し、継続した活動を行っている。なお、洛西ニュータウンでは景観に関しては京都市市街地景観整備条例に基づく洛西ニュータウン地域（新林、境谷、竹の里、福西）での「地域景観づくり協議会」の認可及び「地域景観づくり計画書」の認可を受けるための活動を行っているとのことである⁷⁾。

2.7 学生も住民！町内会加盟制度

当該の企画案は、南草津に下宿する学生に町内会へ加盟させ、「一住民」として、町内会の清掃活動や、夏祭り、子供会のクリスマス会、運動会、文化祭、防災訓練、防犯パトロールなどへの参加を促すものである。これにより、学生と地域が融合し、地域の活性化が図れるとともに学生の孤立を防ぐ効果もあると期待されている。

企画案では、学生の町内会加盟に対してある程度の強制力を働かせることや出欠の確認などにも言及されている。そのレベルではないものの、例えば札幌市では町内会への加入促進の取り組みとして「町内会加入率 100%化計画」と銘打って、学生が町内会に入らない理由や入りやすくするための仕組み作りなど、ワークショップを通して検討している（図6参照）⁸⁾。また、大学側の取り組みとして、横浜国立大学では学生生活のウェブページに「町内会に入って、地域デビューしよう！」という記事⁹⁾を掲載し、学生への町内会への加入を呼びかけている。



図6 町内会と大学生が協働で作成した町内会加入啓発ポスターの例（札幌市）

2.8 咲くよ・みなくさ・インフィオラータ

インフィオラータとは、花びらなどで模様を描くイベントで企画案の中では草津産のカーネーションや青花など、従来の地域特産品に焦点を当てている。「花と緑のガーデンシティ草津構想」とも連携を図り、魅力的な居住空間の創成に寄与することが期待される。また、イベントのフォーマットとしては、コンテスト形式で花びらアートの展覧会を実施することにより、市内・市外の小中学校、高校、大学からの参加を促すことも可能であり、地域の活性化にもつながる提案である。

インフィオラータはヨーロッパ各地で古くから実施されている他、近年では日本でも株式会社インフィオラータアソシエイツ、株式会社バイエリアなどにより普及が進められており（図7参照）¹⁰⁾、神戸北野坂や京都駅ポルタなど京阪神圏での実施事例も多い。

2.9 世界の食文化 Village 構想

当該の企画案は、滋賀県には固有の「食」や「食材」が豊富にあること、そして「食」に関する分野を有する大学が今後増えていくことを視野に入れ、世界および日本各地の「食」を体験できる施設をびわこ文化公園都市、立命館大学隣接地、南草津駅隣接地に建設するという提案である。これにより、農業や漁業の6次産業化、郷土の食材の継承などの課題への対応が可能となるほか、滋賀県自体を「食の王国」としてPRできることが期待される。

このような先進事例としては、食に関する博物館（ex. 新横浜ラーメン博物館）や、特定の料理に特化したフードテーマパーク（ex. 大阪たこやきミュージアム）、食品企業工場併設の展示（ex. インスタントラーメン発明記念館、味の素 食とくらしの小さな博物館、日本食研 食文化博物館）などが挙げられる。しかしながら、アミューズメント的要素や企業PRの要素の強いものが多く、地



図7 イタリアでのインフィオラータの風景

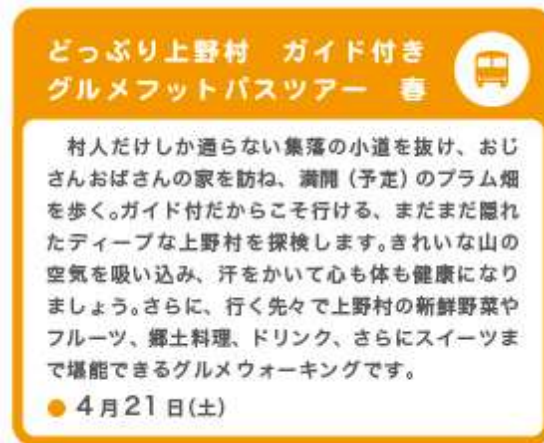


図8 上野村グルメフットパスツアーの開催ちらし

方自治体から「食文化」をとらえた施設はあまり多くはない。

2.10 草津市版フットパス “急がば回れ” in みなくさ ～ウォーキンググルメツアー～

フットパスとは、イギリスにある散策路のことであり、これを用いたウォーキンググルメツアーを実施するのが本企画の趣旨である。コース設定として、矢橋道や文化ゾーンなどを設定し、地域の歴史を紹介すると共に、地域の食材やお店を知るきっかけを参加者に与えることを意図したものである。

同様の先進事例は主にヨーロッパにおいて多く散見される。日本では、群馬県上野村にて村おこしの一環として、上野村森の体験館と Yotacco の主催でグルメフットパスツアーが開催されている（図8参照）¹¹⁾。都市型のグルメフットパスツアーの開催事例はあまり見当たらず、「食べ歩き」の文脈での観光ツアーの開催に留まっている。

2.11 大型店舗集積事業

当該の企画案は、交通利便性の高く大阪・京都・神戸・岐阜・福井・三重が商圈になりうる南草津地域に大型店舗を集積することで、他府県からの利用者を南草津地域に呼び込むと共に、琵琶湖を含む豊かな自然と商業施設を兼ね備えたリゾート地化も視野にいたった法整備などを進めることを提案するものである。また、商業施設には、今後日本との経済的結びつきが強くなるベトナムやインドネシアなどアジア各国の民芸品や飲食店、雑貨などを集積した特色のあるものにする、などの展望も見据えられている。

従来、大型店舗は車社会化の加速、中心市街地の衰退、地域産業の縮小化などをもたらすものとしてまちづくりとは対極にある存在として捉えられることが多かった。しかしながら、近年、大手デベロッパー側からもこの弊害を解消し、真にまちや自然と調和したショッピングセンターのあり方を模索する動きも散見される。例えば、倉敷・美観地区では倉敷駅北口に「アリオ倉敷」と「三井アウトレットパーク倉敷」の大型商業施設が開業して以来、駅南側の美観地区へ訪れる観光客が増加し、相乗効果を生み出している¹²⁾。大型商業施設の負の効果を極力抑えた上で、まちとしての



図 9 堺市立図書館での開催事例

魅力を高めるような方策を検討することが重要であると言える。

2.12 知域交流 ビブリオバトル@みなくさ

ビブリオバトルとは、立命館大学の谷口忠大准教授の発案で全国的に広まりつつある、本の紹介コミュニケーションゲームである。「人を通して本を知る、本を通して人を知る」をキャッチコピーに小中高校、大学、一般企業の研修・勉強会、図書館、書店、サークル、カフェ、家族の団欒などで広く活用されている。本提案は、南草津地域のカフェや居酒屋、大学内、図書館内など、至る所で特定のテーマを決めてビブリオバトルを開催する事で、立場や生活スタイルが異なる人同士をつなぐきっかけとなることが期待される。

ビブリオバトルは、大学生・大学院生を対象とした全国大会が2010年より開催され、参加人数も指数関数的に増加しつつある。また、地域の図書館などでも開催されている事例¹³⁾も多い(図9参照)。現時点では、これをまちづくりやコミュニティ形成の目的で活用した事例はあまり見受けられないが、今後、生涯教育の文脈で大きく進展する可能性は高い。

2.13 地域の特産品—南草津ブランド—をつくる

当該の企画案は、学生のアイデアを募るなどして地域の特産品をつくり、南草津ブランドとして売り出すことで地域の活性化につなげることを意図したものである。特産品のつくり方、育て方に関しては、例えばみなくさまつりや上述のフットパスなどのイベントでコンテストを開催することなどが先のWGでは議論された。

地域の特産品によるブランド化に成功した事例は数多くある。例えば、高知県馬路村では、40年ほど前に栽培の始まったゆずを用い、都市へ売るためのポン酢やジュースなどの商品を開発するな



図 10 岐阜大学の学生プロジェクトから商品化された獣肉ジャーキー



図 11 デルフト工科大学併設の Science Center Delft の様子

どの戦略を立て、そのブランド化に成功した事例として有名である。また、学生による地域特産品の開発についても多くの先行事例がある（例えば、図 10 参照¹⁴⁾）が、地域の文脈を適切に読み解き、開発した商品を定着させるための仕組み・戦略作りに課題がある。

2.14 南草津・科学館構想

当該企画案は、大学、ものづくり系企業の立地するポテンシャルを活かし、科学立国としての日本を支える人材の育成も考慮し、南草津に科学館を設置、科学に興味のある子供にそのおもしろさを伝える場をつくる、というものである。立命館大学ではすでに課外活動の一環として科学実験教室などを開催している他、パナソニックなどでも科学教育関係のイベントを実施しているなど実現に向けた下地が整っている。また、琵琶湖博物館などとも連携し、文化・教育地域として南草津の特色を強めることが期待される。

先行事例として、大阪市立科学館や国立科学博物館などの公立の科学館や、京都大学総合博物館、



図 12 TU Delft の学生組織 Koorbeurs Society の活動拠点

東京農工大学科学博物館などの大学付属の博物館などは多く存在する。国外に目を向けると、オランダのデルフト工科大学には Science Center Delft¹⁵⁾を併設し、最先端の研究に関する展示や初等教育・中等教育向けのワークショップなどを、各種企業のファンドを得て運営している事例もある。

2.15 課外活動を駅前で

当該企画案は、文化系のサークル活動を中心に、駅前等の空きスペースをかりて課外活動を展開することを提案するものである。活動には立命館大学の学生だけでなく、興味のある地域の人もメンバーとして自由に登録して参加できるようにし、地域と交流し、活性化を図る効果も期待される。

類似の取り組みとして、オランダのデルフト工科大学では学生組織の活動拠点を旧市街内に設けている¹⁶⁾ (図 12 参照) ほか、サークルの新入生歓迎イベント自体を旧市街中心地であるマーケット広場で行い、新入生にまち案内を行う取り組みも行われている。学生の活動拠点を街中に設置することにより、地域の賑わいを創出する効果があるが、自由な活動を許容した場合、騒音やマナーなどの点で住民と協調することが強く求められる。

2.16 南草津コミュニティサイクル

当該企画案は、子どもから高齢者までの幅広い世代が利用できる自転車が主役となるまちづくりに向け、コミュニティサイクル（レンタル施設の複数拠点化）の導入を進めるものである。とりわけ、南草津周辺には立命館大学や多くの企業が立地しているため、通勤・通学者の利用が見込まれるほか、まちの回遊性を高めることが期待される。

近年、このような取り組みは世界中で多く進められている (図 13 参照)。日本国内でも、富山市でアヴィレという自転車市民共同利用システム¹⁷⁾が実施されているほか、札幌市のポロクル¹⁸⁾など、その導入が進められつつある。

2.17 サイクルロードレースの誘致～サイクリングのまち・草津の実現



図 13 ワシントン D.C. における共有自転車ポート

当該提案は、昨今のサイクリングブームや健康志向のまちづくりの動向、及び自転車に関する活動が盛んな地域性（サイクルフィギュア No.1 選手が草津市に居住、琵琶湖一周サイクリングルート of 集客性）を活かし、草津市内もしくは草津市およびその近隣地域を会場にして、サイクルロードレースを開催するなど「サイクリストの聖地」とするものである。それと共に、サイクリングのまちづくりを進めることが提案されている。

このような自転車を中心としたまちづくりを進めている事例として、福井県大野市の取り組みが挙げられる。大野市では 2018 年の福井国体で自転車ロードレースが開催されることを受け、「自転車を使った人と道路が結ぶ環境にやさしいまちづくり」を標榜し、自転車インフラ整備や各種イベント企画の開催などを進めている¹⁹⁾。

2.18 南草津まちづくりコンペティション

居住者に占める学生の割合が極めて高い南草津において、学生を対象としたまちづくりコンペを開催し、企画の検討・実施を通して地域住民・学生・企業との地域交流が促進されることや、企画が採択されれば、「大学のまち」として南草津のブランド化を図れることを狙ったものである。南草津周辺に立地するベンチャー企業や研究開発企業などとのコラボレーションも視野に入れている。

先行事例としては、株式会社まちづくりとやまの主催による「学生まちづくりコンペティション 2012」が挙げられる²⁰⁾。これは大学、短大、高専、高校に所属する団体や個人を対象に、1) 富山の中心市街地活性化に関する事業であること、2) 最低 1 団体（商店街、個別店舗、NPO 法人、企業等）以上から連携した事業の実施承諾を得ていること、3) 営利活動、宗教・政治活動を目的とする事業でないこと、4) 公序良俗に反する事業でないこと、5) 平成 24 年 12 月末までに事業を完了できること（※ 2012 年度募集について）、を満たす事業のコンペティションを開催し、3 件程度を事業採択し委託金（25 万円）を支払うというものである。

3. テキストマイニングによる南草津まちづくり企画案の分析

本章では、テキストマイニングの手法を用いる事により、統計的に WG メンバーが提案する企画案を分析し、南草津に関わるキーワードの抽出や、キーワード間の共起関係を把握することにより、18 件の企画案の概要を整理すると共に、潜在的意味インデキシングを用いて 18 件の企画案のカテゴリ分類を行う。

3.1 テキストマイニングとは

マイニングとは採掘 (mine) を意味する。テキストマイニングとは「文章 (テキスト) を採掘 (マイニング) する」ことにより、大量のテキスト情報の中から有益な情報を探し出すための統計分析手法である。文章をデータと捉える事により、例えば自由記述のアンケートなど、従来は分析者の主観に基づく解析・実態把握に留まっていたテキストデータに対し、

- ・ 分析過程の透明性の確保
- ・ 分析者の恣意性の排除
- ・ 膨大なテキストデータの機械処理

が可能となる。

本稿は、テキストマイニングを通して、企画案の全貌を把握すると共に、今後の南草津のまちづくり施策を考える上での方向性を明確化する事を目的とする。なお、本分析では、形態素解析エンジン MeCab²¹⁾を利用した R によるテキストマイニングパッケージである RMeCab²²⁾を用いる。

3.2 辞書の整備

日本語形態素解析エンジンである MeCab には日本語辞書が整理されているが、固有名詞や地域固有の名称などには対応されていない。たとえば、「南草津」という単語に対して形態素解析を行うと「南」と「草津」という 2 つの単語に分類される。また、一般的な単語であっても、例えば「高速道路」という単語であれば、「高速」と「道路」に分類される。この点に対応するため、本研究では独自の辞書の整理を行った。具体的に追加した単語リストを別添資料に整理する。

3.3 同意語の整理

本分析では各企画案の文書から単語を抽出し、その意味に基づいて概要把握、および潜在的意味解析を行うことを目的としている。そのため、ある特定の意味に対し、どのような単語を使用したか、ということより、その意味自体が重要性を持つ。それに対し、日本語形態素解析エンジン MeCab では 2 つ以上の同意語があれば、それぞれは異なる単語として認識されることとなる。具体的には、「食料」と「食材」とでは全く異なる単語として判別されることになる。

この状況に対処するため、本研究ではほぼ同意と判断される単語群は同一単語として処理するように設定した。具体的には、表 2 の通り同意語群を代表する単語を設定した。

表 2 同意語群の整理

同意語群	代表単語	同意語群	代表単語	同意語群	代表単語
散歩 歩き ウォーキング ウォーク 散策	散歩	食 食材 食料 食品 グルメ	食	花びら 青花 花卉 生花 花	花
同意語群	代表単語	同意語群	代表単語	同意語群	代表単語
地図 マップ	地図	コンペ コンペティション	コンペ	科学 サイエンス	科学

3.4 テキストマイニングによるまちづくり企画案の全体把握

3.4.1 頻出キーワードの抽出

全企画案に共通する傾向を把握するため、共通して登場する頻度の高いキーワードの抽出を行う。テキストデータは企画毎に整理され、形態素解析によって名詞、助詞、形容詞、動詞、形容動詞などの品詞に分離される。ここでは、キーワードとして名詞のみに着目し、その出現頻度を数値化する。18件の企画案はそれぞれ異なるテキストファイルとして保存されており、これに形態素解析を適用することにより、抽出された単語数×18列の行列（以降、「ターム・文書行列」と呼ぶ）が得られることとなる。この際、文章量の多い企画書中に頻出するキーワードが多く抽出されるのを防ぐため、単語の出現数に関する正規化を式(1)に従って行う。

$$\hat{n}_{ij} = \frac{n_{ij}}{\sqrt{\sum_j n_{ij}^2}} \quad (1)$$

ただし、

\hat{n}_{ij} : 企画案 i におけるキーワード j の正規化された出現数、

n_{ij} : 企画案 i におけるキーワード j の出現数、

を表す。さらに、これを各列に関して和をとった指標 \hat{N}_j （式(2)参照）を算出することにより、すべての企画案に共通して出現するキーワードを見いだす。

$$\hat{N}_j = \sum_i \hat{n}_{ij} \quad (2)$$

図 14 に重み付けされた出現頻度の高いものから順に 50 個のキーワードを抽出したものを図示する。これより、上位は「南草津」，「学生」，「地域」，「大学」，「立命館大学」といったキーワードが占めており、企画案の対象地である南草津に立地する立命館大学及びその学生との関連性をもつ企画案が多かったことを示唆している。また、「食」というキーワードも比較的高い出現頻度を得ているが、これは 18 件の企画案中、朝市、食文化、フットパス、ブランドと 4 件が食に関連する提案であることを反映したものであり、WG 参加者が比較的、南草津地域の「食」に高い関心

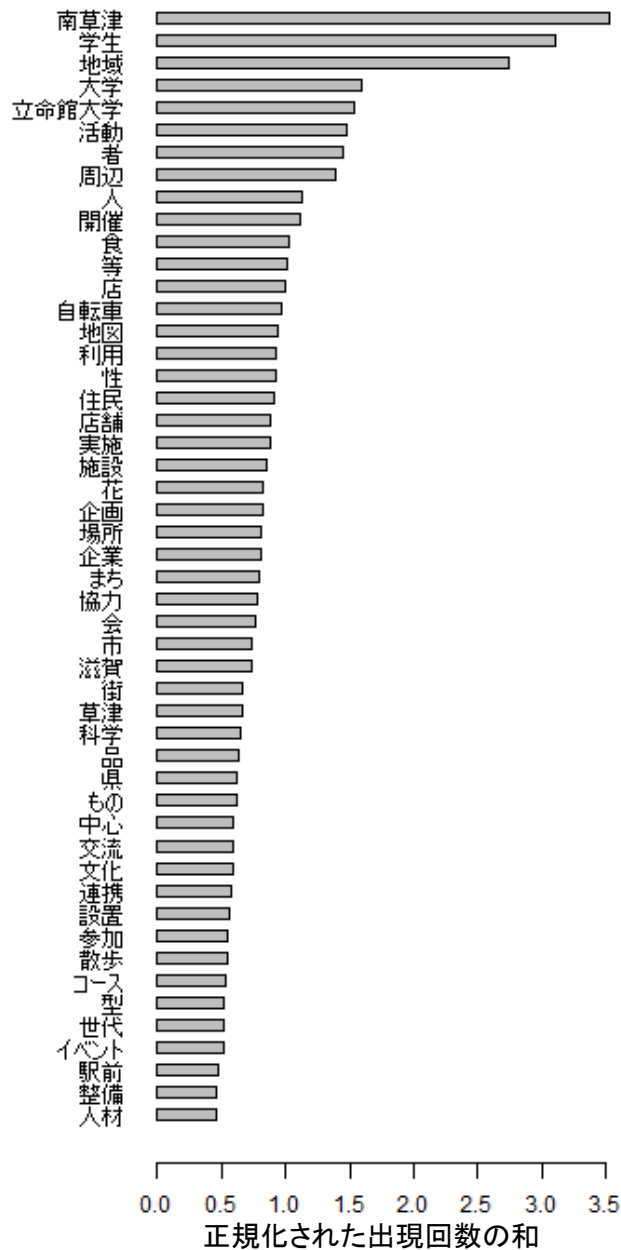


図 14 頻出キーワードの抽出結果

を寄せていることが伺える。その他、「自転車」、「地図」、「花」、「企業」、「科学」、「交流」、「散歩」などの各企画案を象徴するキーワードが抽出されていることが分かる。

3.4.2 共起ネットワークによる企画案の可視化

次に、上記頻出語句間の連関性を可視化することにより、企画案の概要の把握を試みる。ここでは、ある語が別の特定の語と隣接して現れることを表す「共起性」を用い、共起性の高い語句を抽出、それらをネットワークとして表現する。具体的には、テキストデータの中から名詞のみを対象とし、2回以上出現する共起関係にある語句を抽出する。

図 15 にその結果を示す。このうち、大きな連鎖ネットワークを形成している(A)、(B)、(C)の箇所

具体的には、ターム・文書行列 TD (m 行 \times r 列) を式(3)のように特異値分解して得られる左特異値行列 U を算出する.

$$TD = U\Sigma V^T \quad (3)$$

ただし、 Σ は特異値ベクトル、 V は右特異値行列を表し、 $U^T U = U U^T = I$ 、 $V^T V = V V^T = I$ となる性質をもつ. このとき、左特異値行列の上 k 行からなる行列 U_k は、タームに関する k 個の主成分を表し、これを式(4)のように元の行列 TD に掛けることで、 k 行に近似された行列を得る. この行列は各文書の特徴を k 次元の指標で表したものに相当する.

$$TD_k = U_k^T TD \quad (4)$$

U_k に示される主成分は抽出された単語に対して係数が付与されるため、単語の意味とそれに対応した係数の関係を解釈することによって、各企画案を特徴付ける軸を抽出することが可能となる.

3.4.4 主成分の抽出

今回のケースでは、形態素として名詞のみを抽出し、その出現頻度を文章量によって正規化したターム・文書行列を作成した. このとき、全企画案を通して 3 回以上出現した名詞のみに絞り込んだ結果、18 個の企画案から 290 個の語句が抽出されたため、ターム・文書行列は 290 行 \times 18 列の行列となる. これを特異値分解して得られる左特異行列がターム毎の係数を表すものと解釈される. 本ケースでは、3 つの因子を抽出し、それぞれ係数が大きい方、及び小さい方から 20 個ずつのタームに基づき各因子の解釈を行う. その結果を表 3 に示す.

まず、第 1 主成分の下位 20 タームに着目すると、「南草津」、「学生」、「地域」、「大学」、「活動」、「立命館」といった、図 14 に示した頻出数上位のキーワードと一致していることがわかる. すなわち、第 1 主成分は各企画案に共通して出現するキーワードとそれぞれの企画案に固有のキーワードがそれぞれ抽出されたものとなっており、企画案の内容を分類する指標としては適していないといえ、以降では第 1 主成分については考慮しないこととする.

次に、第 2 主成分に着目すると、「食」、「自転車」、「花」、「店舗」、「店」、「地図」、「整備」、「施設」、「公園」、「ポート」など、都市として必要な要素や施設に関連する語句が並ぶ一方、「学生」、「大学」、「人」、「登録」、「人材」、「派遣」、「交流」、「知識」、「町内会」、「市民」などの活動主体や人的資本に関する語句が多く抽出されている. これより、第 2 主成分は「取り組みの方向性」を表す軸と解釈することができる. すなわち、第 2 主成分が大きい値を取るほど、南草津の都市機能や景観、居住性などを高める企画である一方、小さい値を取るほど、活動主体に重きを置いてそれらが何らかの活動を行い・交流することに主眼をおいた企画であることが示唆される.

最後に、第 3 主成分に着目すると、「地図」、「施設」、「南草津」、「人」、「花」、「本」、「まち」、「散歩」、「子育て」、「講演」など、南草津地域での居住性や生活の質につながる語句で高い値を取っている一方、「自転車」、「開催」、「滋賀」、「科学」、「企業」、「大会」、「競技」、「立命館大学」、「食」など、従来の南草津ではあまりなじみのない新しい事柄を通して、対外的に人を集めるイベントを開催することに関連した語句で低い値をとっている. このこと

から第3主成分は「成果の方向性」を表す軸と解釈することができる。すなわち、第3主成分が大きい値をとるほど、南草津地域の生活の質を向上させるような企画である一方、小さい値をとるほど、南草津地域の新しい特性を外に向かって発信するような企画であることが伺える。

表3 主成分とタームの関係

順位	第1主成分		第2主成分		第3主成分		
	ターム	係数	ターム	係数	ターム	係数	
上位20ターム	1	一周	-0.006	食	0.217	地図	0.506
	2	周回	-0.006	自転車	0.212	施設	0.233
	3	府	-0.006	花	0.191	南草津	0.215
	4	世界	-0.007	南草津	0.187	人	0.161
	5	建設	-0.007	利用	0.171	花	0.159
	6	体験	-0.007	店舗	0.170	本	0.139
	7	2	-0.007	滋賀	0.132	紹介	0.133
	8	ベトナム	-0.007	店	0.132	街	0.113
	9	岐阜	-0.007	周辺	0.122	まち	0.105
	10	高速道路	-0.007	設置	0.109	散歩	0.095
	11	神戸	-0.007	地図	0.107	自分	0.094
	12	大型	-0.007	県	0.106	子育て	0.087
	13	大阪	-0.007	型	0.100	世代	0.086
	14	福井	-0.007	性	0.094	公園	0.081
	15	自然	-0.008	開催	0.093	案内	0.077
	16	km	-0.008	整備	0.092	機関	0.066
	17	カテゴリー	-0.008	施設	0.090	作成	0.065
	18	サイクリスト	-0.008	街	0.088	関連	0.065
	19	サイクリング	-0.008	公園	0.088	中	0.061
	20	選手	-0.008	ポート	0.083	観光	0.058
下位20ターム	261	企業	-0.091	市民	-0.050	選手権	-0.063
	262	場所	-0.092	課外	-0.051	性	-0.067
	263	会	-0.094	町内会	-0.052	企画	-0.067
	264	性	-0.098	時	-0.058	市	-0.071
	265	食	-0.102	データベース	-0.059	連盟	-0.074
	266	店	-0.104	知識	-0.059	設置	-0.075
	267	企画	-0.105	交流	-0.067	ポート	-0.086
	268	実施	-0.108	派遣先	-0.074	食	-0.087
	269	開催	-0.115	下宿	-0.076	立命館大学	-0.089
	270	等	-0.115	BKC	-0.081	地域	-0.099
	271	住民	-0.120	マンション	-0.086	店舗	-0.102
	272	人	-0.138	派遣	-0.088	競技	-0.106
	273	者	-0.149	人材	-0.089	大会	-0.106
	274	周辺	-0.156	企画	-0.095	企業	-0.120
	275	立命館大学	-0.172	登録	-0.096	科学	-0.120
	276	活動	-0.183	地域	-0.100	利用	-0.120
	277	大学	-0.191	人	-0.114	県	-0.124
	278	地域	-0.327	大学	-0.114	滋賀	-0.132
	279	学生	-0.397	活動	-0.211	開催	-0.168
	280	南草津	-0.421	学生	-0.525	自転車	-0.288

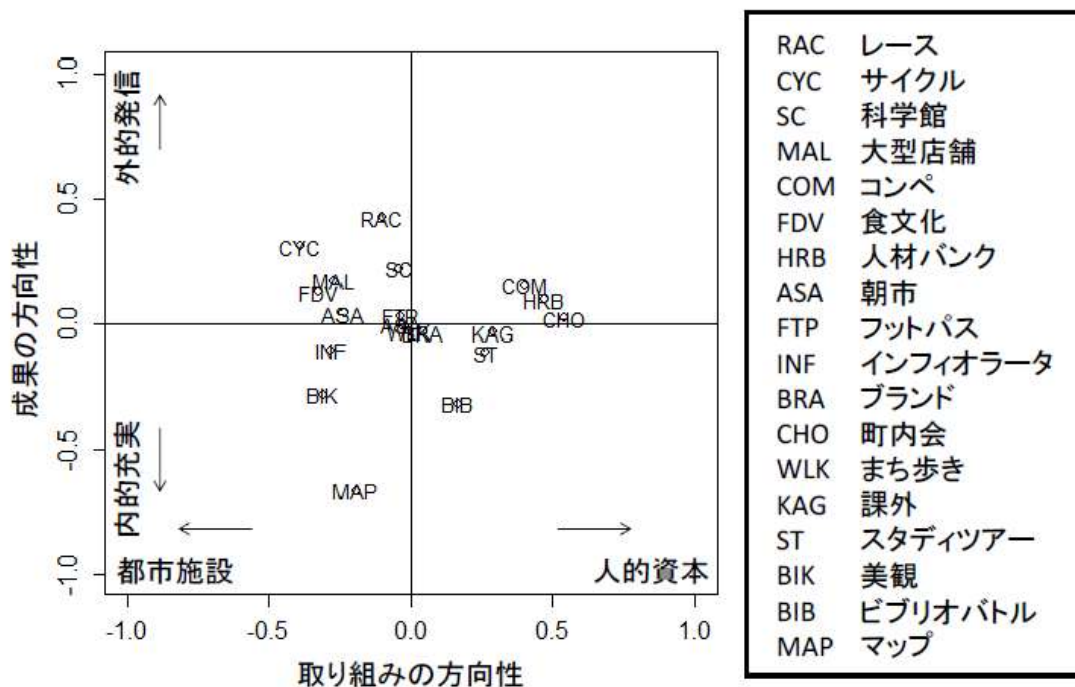


図 16 主成分得点による企画案のマッピング

3. 4. 5 企画案の相対位置づけの可視化

前節で取得した各主成分の係数とそれぞれの企画案に出現するターム頻度ベクトルに基づき、企画案を第 2 主成分と第 3 主成分の 2 つの軸で得点化した。それを「取り組みの方向性 - 成果の方向性」平面にプロットしたものを図 16 に示す。図中、一つ一つのプロットは表 1 記載のアルファベット略記された企画案を表している。

まず、「取り組みの方向性」軸に着目すると、町内会 (CHO)、人材バンク (HRB)、コンペ (COM)、課外 (KAG)、スタディツアー (ST)、ビブリオバトル (BIB) で大きい正の値をとることが読み取れる。すなわち、これらの企画は南草津を中心とした「人」に焦点をあて、人と人とのつながり紡ぐ町内会の活性化に取り組むもの、学生を地域に派遣して活動の場をあたえるもの、学生のまちづくりに関するアイデアを募集するものなど、地域と人、とくに学生をつなぐ企画であると解釈される。逆に、負値をとるものとしては、サイクル (CYC)、食文化 (FDV)、美観 (BIK)、大型店舗 (MAL)、インフィオラータ (INF)、マップ (MAP) が顕著である。これらの企画は、コミュニティサイクルを導入して都市のモビリティを高める企画や、滋賀県の食文化を発信する施設を建築する企画、美しい景観・環境を保つような整備を行う企画など、都市の機能を整備・改善することで地域の魅力を高めることを意図したものが多いことがわかる。

続いて、「成果の方向性」軸に着目する。正の方向には、レース (RAC)、サイクル (CYC)、科学館 (SC)、大型店舗 (MAL)、食文化 (FDV) など顕著であることがわかる。これらは、自転車を新しいまちづくりの基軸にし、レースの開催などで南草津に集客するという企画や科学館、フードビレッジを建設して南草津や滋賀県の魅力を広く発信するものであることがわかる。一方、

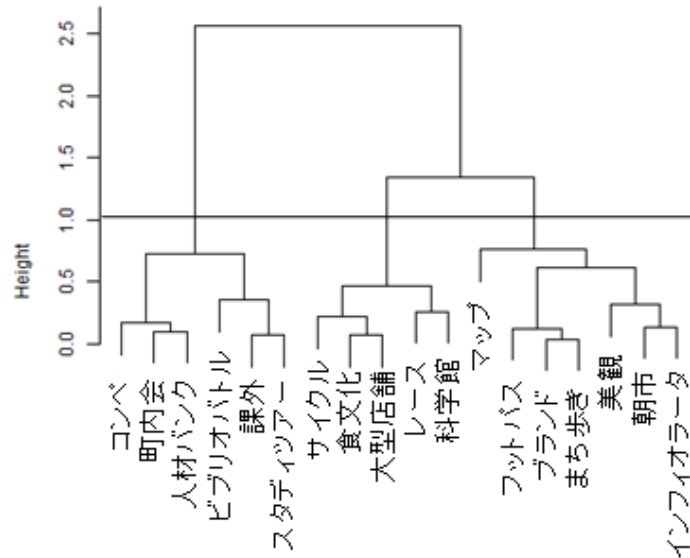


図 17 クラスタ分析による企画案の分類

負値をとるものとしては、マップ (MAP) , ビブリオバトル (BIB) , 美観 (BIK) , スタディツアー (ST) , インフィオラータ (INF) など、南草津で生活する上での文化的な魅力を向上させ、さらには生活の利便性を高める企画であることがわかる。

以上より、潜在的意味インデキシングにより、各企画案が適切に分類され、企画案間の近接性も明確化されたと言える。

4. 企画案の分類に基づく施策の方向性

本章では、第 3 章で定量化された各企画案の主成分得点に基づいて全企画案をいくつかのグループにカテゴリライズし、それらに基づいて南草津で今後展開すべき施策の方向性について検討する。ここでは、「取り組みの方向性」軸、および「成果の方向性」軸の指標値に基づいてクラスタ分析を実施することにより企画案をカテゴリライズする。ただし、企画案間の距離はユークリッド距離にて算出し、クラスタ形成には分散を最小化する ward 法を用いる。その結果を図 17 に示す。ここで、距離 1.0 にてクラスタを定義すると以下 3 つの企画案グループを形成することができる。

- ① コンペ・町内会・人材バンク・ビブリオバトル・課外・スタディツアー
- ② コミュニティサイクル・大型店舗・食文化・サイクルレース・科学館
- ③ マップ・朝市・フットパス・ブランド・まち歩き・美観・インフィオラータ

それぞれのグループにおいて、各企画案を内包する施策の方向性を提示する。

4.1 パッケージ①：立命館大学の学生力を活用し、地域活性化を図る取り組み

このパッケージには、コンペ・町内会・人材バンク・ビブリオバトル・課外・スタディツアーが内包される。南草津駅は立命館大学びわこ・くさつキャンパスの最寄り駅であり、多くの学生が居住する地域でもある。これらの学生と地域住民との交流を深めることを意図するものである。大学

の持つ学術性や文化を地域に反映させ、学生にとっては実社会での活動の場を得ることで、双方にとってメリットを有する方向性を見いだすことが求められる。

4.2 パッケージ②：都市インフラを整備し、南草津の新たな産業・魅力を外に発信する取り組み

このパッケージには、コミュニティサイクル・大型店舗・食文化・サイクルレース・科学館が内包される。南草津の地域性をもつポテンシャルを活かし、新たな都市施設を整備することにより魅力を高め、南草津を象徴する産業へと昇華させることを意図するものである。これらの取り組みは大きなインパクトを与える一方、予算規模も大きくなることが予想され、中長期的に実施されるべき施策であると考えられる。

4.3 パッケージ③：南草津の住民が主体となりソフト的にまちの魅力を高める取り組み

このパッケージには、マップ・朝市・フットパス・ブランド・まち歩き・美観・インフィオラータが内包される。ハード整備を伴わずに実施可能な取り組みで、住民などが主体となって南草津の住宅地としての魅力を高めることを意図したものである。予算規模も小さく、比較的近い将来での実現可能性が高い施策である。特に、これまでに2回開催されてきた「みなくさまつり」との親和性のある、イベント性の高い企画が含まれている。みなくさまつり実行委員会などを基盤としたまちづくり協議会などを組織し、その中で複数の分科会などを形成し、継続的に取り組める体制を作ることが重要であると考えられる。

5. おわりに

全18件の企画案を通して、活動の方向性軸（都市施設←→人的資本）、成果の方向性軸（内的充実←→外的発信）の2つの軸が抽出された。これは別の視点から解釈すると、

- ・ 南草津地域には質的な観点から都市施設の整備が十分なされていないこと、
- ・ 学生などの人材を有効に活用できていないこと、
- ・ 生活の質をより高め、魅力を向上させる余地があること、
- ・ 南草津から他地域に向けて発信する何かに欠落していること、

という現状把握が可能であることを示唆している。

また、これらの企画案をパッケージ化することにより、

- ・ 立命館大学のもつ学生力を活用し、地域の活性化を図る取り組み
- ・ 都市インフラを整備し、南草津の新たな産業・魅力を外に発信する取り組み
- ・ 南草津の住民が主体となってソフト的にまちの魅力を高める取り組み

という3つのまちづくりに関する施策の方向性を見いだすことができた。

今後はこれら施策案の妥当性を多彩な視点から吟味すると共に、短期的、中期的、長期的な取り組みについて取りまとめていくと共に、どのように活動主体を形成していくか、などについて議論していく必要があると考えられる。

参考文献

1. 株式会社バイエリア. インフィオラータ西日本推進事務局. L'INFIORATA. (オンライン) 2009 年. (引用日: 2013 年 2 月 24 日.) <http://www.linforata.com/>.
2. 財団法人 世田谷トラストまちづくり. (オンライン) (引用日: 2013 年 2 月 22 日.) <http://www.setagayatm.or.jp>.
3. 朝日新聞. (オンライン) (引用日: 2013 年 1 月 6 日.) <http://www.asahi.com/edu/news/TKY201202150356.html>.
4. 財団法人 世田谷トラストまちづくり. 世田谷まちづくりファンド 20 周年記念イベント. (オンライン) (引用日: 2013 年 2 月 22 日.) <http://www.setagayatm.or.jp/trust/blog/nikki/2012/10/fund20tu.pdf>.
5. 菱沼勇介. 学生まちづくらーの奇跡 国立発!一橋大生のコミュニティ・ビジネス. 出版地不明: 学文社, 2012.
6. 学生人材バンク. (オンライン) (引用日: 2013 年 2 月 22 日.) <http://i-site.jinzaibank.net/>.
7. 洛西ニュータウン創生推進委員会. まちボタン 洛西ニュータウン魅力発信装置. (オンライン) (引用日: 2013 年 2 月 23 日.) <http://www.rakusainewtown.org/>.
8. ー. まちボタン 洛西ニュータウン情報発信装置. ■住まいと景観チーム■. (オンライン) (引用日: 2013 年 2 月 24 日.) <http://www.rakusainewtown.org/%E5%A7%94%E5%93%A1%E4%BC%9A/%E2%91%A2%E4%BD%8F%E3%81%BE%E3%81%84%E3%81%A8%E6%99%AF%E8%A6%B3%E3%83%81%E3%83%BC%E3%83%A0/>.
9. 札幌市. 町内会加入率 100%化計画! (オンライン) 2011 年 3 月 10 日. (引用日: 2013 年 2 月 24 日.) http://www.city.sapporo.jp/shimin/shinko/kensaku/poster_idea.html.
10. 横浜国立大学. 町内会への加入について. (オンライン) (引用日: 2013 年 2 月 24 日.) <http://www.ynu.ac.jp/campus/attention/community.html>.
11. Yotacco. 4 月 21 日グルメフットパスツアー. よたっこのよた. (オンライン) 2012 年 4 月 22 日. (引用日: 2013 年 2 月 24 日.) <http://yotacco.exblog.jp/18175341/>.
12. 日本経済新聞. 大型商業施設効果で好調 倉敷・美観地区、にぎわい定着へ工夫. (オンライン) 2012 年 4 月 24 日. (引用日: 2013 年 2 月 24 日.) <http://www.nikkei.com/article/DGXNZO40714980T20C12A4LC0000/>.
13. 堺市. 図書館. 「ビブリオバトル」 in さかい. (オンライン) 2013 年 2 月 17 日. (引用日: 2013 年 2 月 24 日.) <http://www.lib-sakai.jp/bibliobattle/index.htm>.
14. 岐阜大学 Gproject. 学生プロジェクト. 獣肉ジャーキープロジェクト いよいよ商品化! (オンライン) 2012 年 3 月 14 日. (引用日: 2013 年 2 月 24 日.) http://gproject.gifu-u.ac.jp/student_project/2012/03/entry14-666.html.
15. TU Delft. Science Center Delft. (オンライン) (引用日: 2013 年 2 月 24 日.)

<http://sciencecentre.tudelft.nl/>.

16. O.J.V. de Koornbeurs. Home. (オンライン) (引用日: 2013 年 2 月 24 日.) <http://www.koornbeurs.nl/>.
17. 株式会社 シクロシティ. Cyclcity Toyama. (オンライン) 2013 年 1 月 31 日. (引用日: 2013 年 2 月 24 日.) <http://www.cyclocity.jp/>.
18. 株式会社 ドーコンモビリティデザイン. 札幌みんなのサイクル ポロクル. (オンライン) 2013 年 1 月 18 日. (引用日: 2013 年 2 月 24 日.) <http://porocle.jp/>.
19. 中日新聞. 大野市 まちづくりに「自転車」. (オンライン) 2013 年 2 月 1 日. (引用日: 2013 年 2 月 24 日.) <http://www.chunichi.co.jp/kenmin-fukui/article/local/CK2013020102000223.html>.
20. 富山市. 「学生まちづくりコンペティション 2012」について. (オンライン) 2012 年 4 月. (引用日: 2013 年 2 月 22 日.)
http://www.city.toyama.toyama.jp/toshiseibibu/chushinshigaichi/daigakurenkei_2_2_3.html.
21. 工藤拓. MeCab: Yet Another Part-of-Speech and Morphological Analyzer. (オンライン) (引用日: 2013 年 2 月 24 日.) <http://mecab.googlecode.com/svn/trunk/mecab/doc/index.html>.
22. 石田基広. R によるテキストマイニング入門. 出版地不明 : 森北出版, 2008.

【別添資料】

形態素解析のための辞書の整備

表層形	左文脈ID	右文脈ID	コスト	品詞	品詞細分類1	品詞細分類2	品詞細分類3	活用形	活用型	原型	読み
南草津	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	南草津	ミナミクサツ
南草津駅	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	南草津	ミナミクサツエキ
みなくさ	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	南草津	ミナクサ
西口	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	西口	ニシグチ
フェリエ	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	フェリエ	フェリエ
Ferie	100	100	900	名詞	一般	地名	地名	*	*	フェリエ	フェリエミナミクサツ
立命館大学	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	立命館大学	リツメイカンダイガク
立命館	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	立命館大学	リツメイカンダイガク
立命	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	立命館大学	リツメイ
BKC	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	BKC	ビーケーシー
びわこ・くさつキャンパス	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	BKC	ビワコクサツキャンパス
地産地消	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	地産地消	チサンチショウ
アンカー施設	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	アンカー施設	アンカーシセツ
交通結節点	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	交通結節点	コウツウケツセツテン
第3の場所	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	第3の場所	ダイサンノバシヨ
国道1号	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	国道1号	コクドウイチゴウセン
美容院	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	美容院	ビヨウイン
京滋バイパス	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	京滋バイパス	ケイジバイパス
多層化	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	多層化	タソウカ
駅前広場	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	駅前広場	エキマエヒロバ
二酸化炭素	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	二酸化炭素	ニサンカタンソ
CO2	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	二酸化炭素	シーオーツー
百万遍	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	百万遍	ヒヤクマンベン
道路網	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	道路網	ドウロモウ
てづくり市	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	てづくり市	テヅクリイチ
みなくさまつり	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	みなくさまつり	ミナクサマツリ
ピリオオバトル	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	ピリオオバトル	ピリオオバトル
まちづくり	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	まちづくり	マチヅクリ
街づくり	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	まちづくり	マチヅクリ
町づくり	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	まちづくり	マチヅクリ
イニシャルコスト	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	イニシャルコスト	イニシャルコスト
開学	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	開学	カイガク
生協	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	生協	セイキョウ
卒町式	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	卒町式	ソツチョウシキ
町内会	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	町内会	チョウナイカイ
入町式	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	入町式	ニュウチョウシキ
コンベ	100	100	900	名詞	一般	地名	地名	*	*	コンベ	コンベ
コンベティション	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	コンベ	コンベティション
伊吹大根	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	伊吹大根	イブキダイコン
近江しやも	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	近江しやも	オウミシヤモ
近江牛	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	近江牛	オウミギョウ
近江米	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	近江米	オウミマイ
6次産業	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	6次産業	ロクジサンギョウ
琵琶湖	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	琵琶湖	ビワコ
びわこ	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	琵琶湖	ビワコ
矢橋掃帆島	100	100	900	名詞	一般	地名	地名	*	*	矢橋掃帆島	ヤハシキハントウ
矢橋	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	矢橋掃帆島	ヤハシ
風光明媚	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	風光明媚	フウコウメイビ
産学官民	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	産官学	サンガクカンミン
産官学	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	産官学	サンカンガク
小域	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	小域	ショウイキ
新快速	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	新快速	シンカイソク
青花	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	青花	アオバナ
婚活	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	婚活	コンカツ
まちバル	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	まちバル	マチバル
東山道記念公園	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	東山道記念公園	トウザンドウキネンコウエン
南草津西口駅前広場	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	東山道記念公園	ミナミクサツニシグチエキマエヒロバ
新名神	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	新名神	シンメイシン
東海北陸	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	東海北陸	トウカイホクリク
湖南	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	湖南	コナン
新草津川	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	新草津川	シンクサツガワ
名神	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	名神	メイシン
相乗効果	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	相乗効果	ソウジョウコウカ
商店街	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	商店街	ショウテンガイ
中華街	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	中華街	チュウカガイ
ショッピングモール	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	ショッピングモール	ショッピングモール
琵琶湖博物館	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	琵琶湖博物館	ビワコハクブツカン
科学館	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	科学館	カガクカン
ものづくり	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	ものづくり	モノヅクリ
ものづくり	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	ものづくり	モノヅクリ
1回生	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	1回生	イツカイセイ
上回生	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	上回生	ジョウカイセイ
通勤圏	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	通勤圏	ツウキンケン
おかん	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	おかん	オカン
おとん	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	おとん	オトン
おじん	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	おじん	オジン
おばあ	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	おばあ	オバア
日中	100	100	400	名詞	一般	地名	地名	*	*	日中	ニツチュウ
派遣先	100	100	400	名詞	一般	地名	地名	*	*	派遣先	ハケンサキ
高速道路	100	100	400	名詞	一般	地名	地名	*	*	高速道路	コウソクドウロ
生産者	100	100	400	名詞	一般	地名	地名	*	*	生産者	セイサンシャ
参加者	100	100	400	名詞	一般	地名	地名	*	*	参加者	サンカシャ
協力者	100	100	400	名詞	一般	地名	地名	*	*	協力者	キョウリョクシャ
マーケット広場	100	100	400	名詞	一般	地名	地名	*	*	マーケット広場	マーケットヒロバ
イオンモール	100	100	400	名詞	一般	地名	地名	*	*	イオンモール	イオンモール
散歩	100	100	400	名詞	一般	地名	地名	*	*	散歩	サンポ
サイクル	100	100	400	名詞	一般	地名	地名	*	*	サイクル	サイクル
びわ湖	100	100	1000	名詞	一般	地名	地名	*	*	琵琶湖	ビワコ